



**OnTime for Microsoft
Ver.2.5.x Rev.1**

OnTime サーバー インストール・アップグレード マニュアル 目次

1.概略	
OnTime for Microsoft について	2017/09/07
OnTime for Microsoft インストール アウトライン	2017/09/07
OnTime for Microsoft アップグレード アウトライン	2017/09/07
2.作業前準備	
.NET Framework 3.5の機能を追加して下さい。	2017/03/14
Exchange管理センターでOnTimeが利用する配布グループを準備します。	2017/03/07
Exchange管理センターで役割グループを作成します。	2017/03/07
3.SQL環境構築	
SQLサーバーのインストールします	2017/09/07
SQLサーバーの使用するTCP/IPポートを変更します	2017/03/13
4.OnTimeインストール	
ダウンロードしたファイルを展開します	2017/09/06
インストール作業	2017/09/07
アップグレード作業	2017/09/07
5.OnTime管理センター	
OnTime管理センターにログインします	2017/09/07
ダッシュボード	2017/09/07
データベース設定	2017/09/07
ライセンス登録	2017/09/07
言語設定	2017/09/07
グローバル設定-バックエンド	2017/09/07
グローバル設定-フロントエンド	2017/09/07
グローバル設定-名前書式	2017/09/07
サーバー-サーバー設定	2017/09/07
サーバー-同期ソース	2017/09/07
ユーザー設定-メンバー	2017/09/07
ユーザー設定-デフォルト設定	2017/09/07
グループ設定-設定	2017/09/07
グループ設定-静的グループ	2017/09/07
グループ設定-動的グループ	2017/09/07
凡例	2017/09/07
6.その他	
FAQもご参照下さい	2017/09/07

1.概略 -

OnTime for Microsoft について

OnTime for Microsoftは下図でいうSQLサーバーとTomcatサーバー(OnTimeサービスを含む)で動作します。必要とするサーバースペックはご利用になる環境によって変わってきます。詳しくは販売パートナーにご相談下さい。

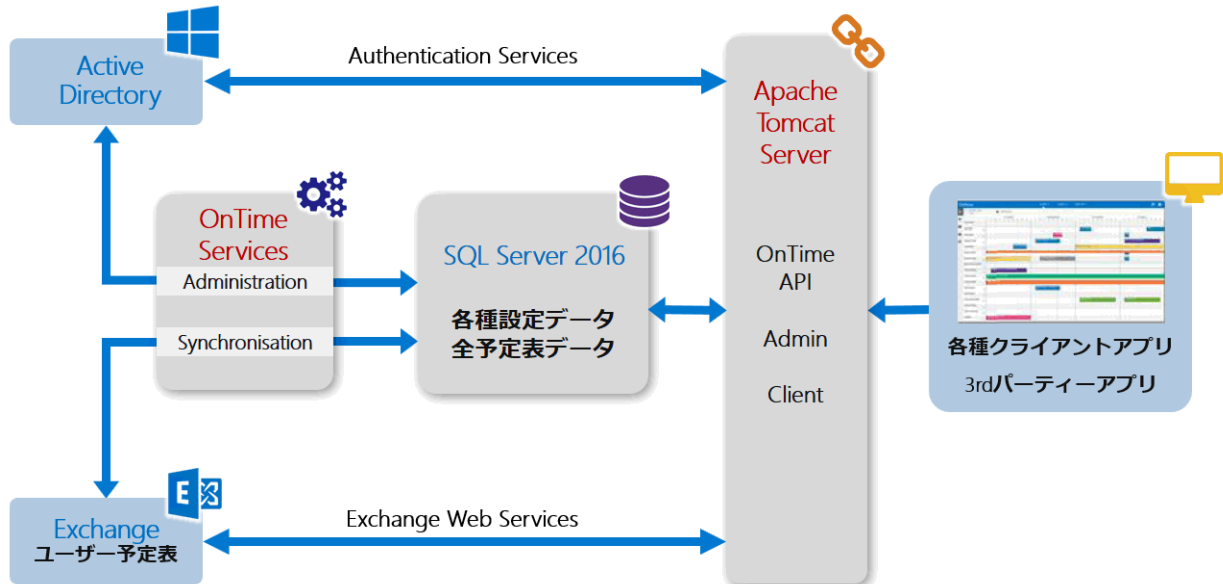
OnTime構成

- | SQLサーバー…………… 各種設定や予定データのリアルタイムキャッシュを保持しています。
- | Tomcatサーバー…………… ユーザー画面及び管理画面及びExchangeのデータ同期をまかないます。

使用TCPIPポート

- | 8080… Tomcatへの接続に使用します。
- | urlRedirecterを使用すると80番ポートに接続することで自動的に8080番ポートにリダイレクトされます。
- | 80…… ADとのSSOに使用します。

OnTimeをドメイン環境のExchangeと利用しログオンにSSOを使用する場合は、OnTimeもドメイン内にインストールして下さい。



1.概略 -

OnTime for Microsoft インストール アウトライン

OnTimeのインストールは以下の手順に沿って行います。

1. Exchange管理センターでユーザー、会議室、備品それぞれの配布グループを準備します。
2. Exchange管理センターでOnTimeが接続に利用するユーザーに"ApplicationImpersonation"役割を付与します。
3. OnTime用にWindows2008 R2以上のサーバーを準備します。
4. .NET Framework 3.5の役割が未実装ならインストールします。
5. SQL Server 2014以上をインストールします。
6. ダウンロードしたプログラムファイルからTomcatをインストールします。
7. OnTime管理センターで各種設定を行います。

1.概略 -

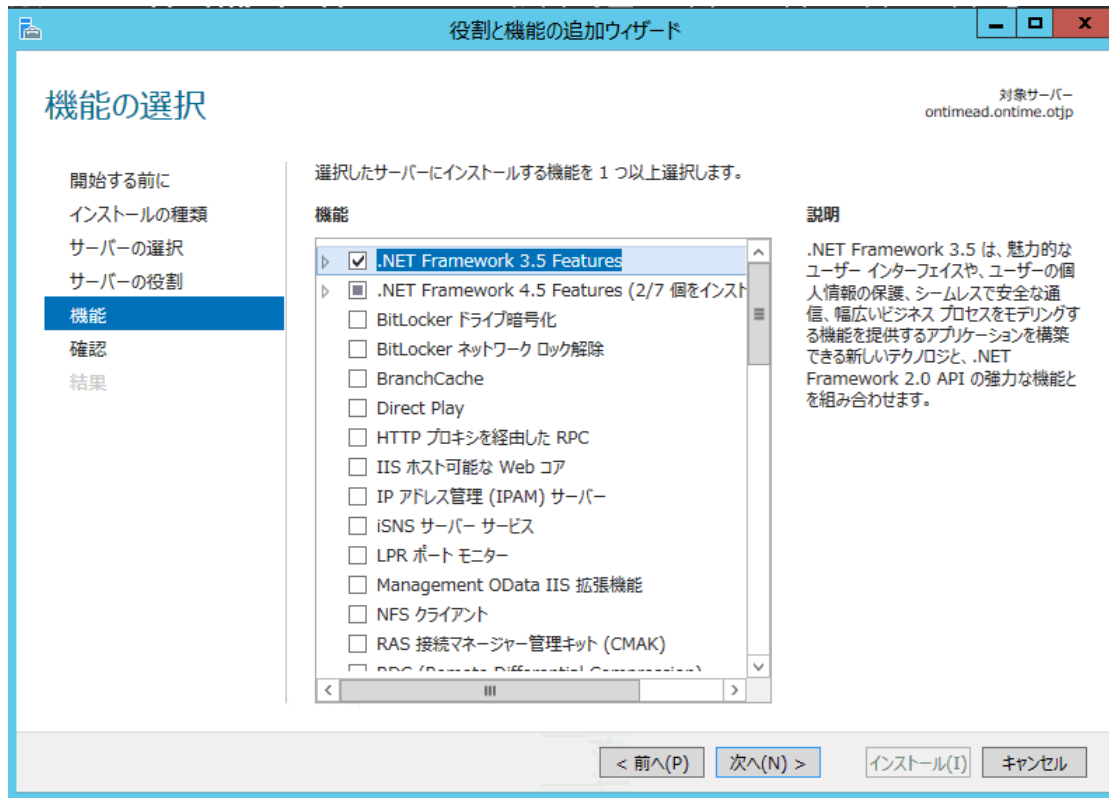
OnTime for Microsoft アップグレード アウトライン

1. 旧バージョンのフォルダで各アンインストールプログラムを実行します。
2. 新しいプログラムフォルダからアップグレードプログラムを実行します。
3. OnTime管理センターで追加の設定を行います。

.NET Framework 3.5の機能を追加して下さい。

ご利用のWindowsサーバーに.NET Frameworkの機能が追加されていない場合は、SQLサーバーの動作に必要なので機能を追加して下さい。

インストールの詳細はOSの管理者にご相談下さい。



2.作業前準備 -

Exchange管理センターでOnTimeが利用する配布グループを準備します。

ご利用のExchange環境からOnTimeを利用するユーザーを配布グループとして準備します。
OnTime内ではユーザー、会議室、備品は個別に管理されますのでそれぞれ個別に準備します。
本マニュアルでは以下の様な名前で配布グループをそれぞれ準備します。

配布グループの作成方法はExchange管理者にご確認下さい。

- | ユーザー.....OnTimePersons@組織ドメイン
- | 会議室..... OnTimeRooms@組織ドメイン
- | 備品..... OnTimeEquipments@組織ドメイン

Exchange管理センターで役割グループを作成します。

OnTime for MicrosoftをExchange OnlineやオンプレのExchangeに接続する際は、1人のユーザーアカウントが全ユーザーをImpersonation(日本語で演技や偽装)してスケジュールデータの入出力を行います。
なのでOnTimeからEWSに接続するImpersonationユーザーアカウントにExchangeにデフォルトで実装されている“ApplicationImpersonation” ロールを付与する必要があります。

詳細は以下のFAQを参照するかExchange管理者にご確認下さい。
「Exchange側でのImpersonation Userの設定方法」
<http://www3.ontimesuite.jp/impersonation/>

本マニュアルではEWSに接続するユーザーを「OnTimeAdmin@組織ドメイン」とします。

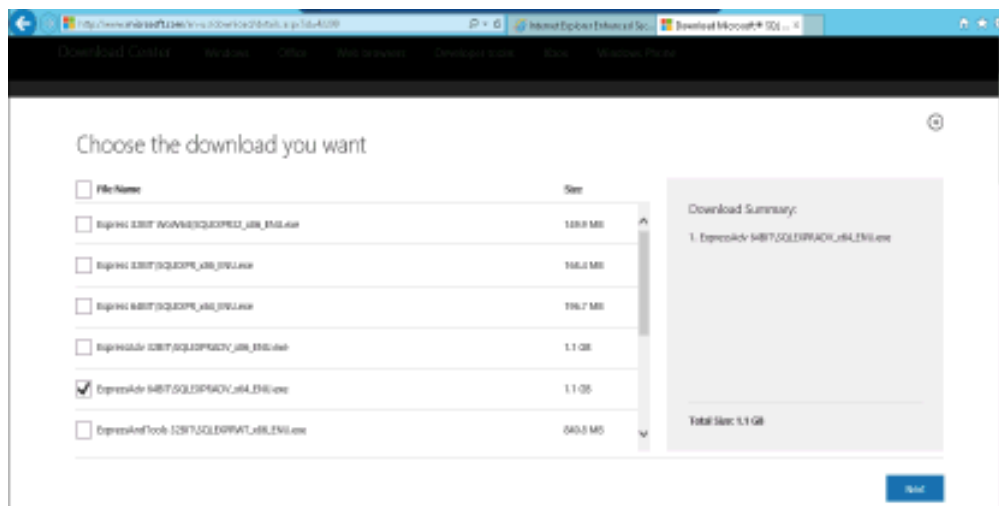
3.SQL環境構築 -

SQLサーバーのインストールします

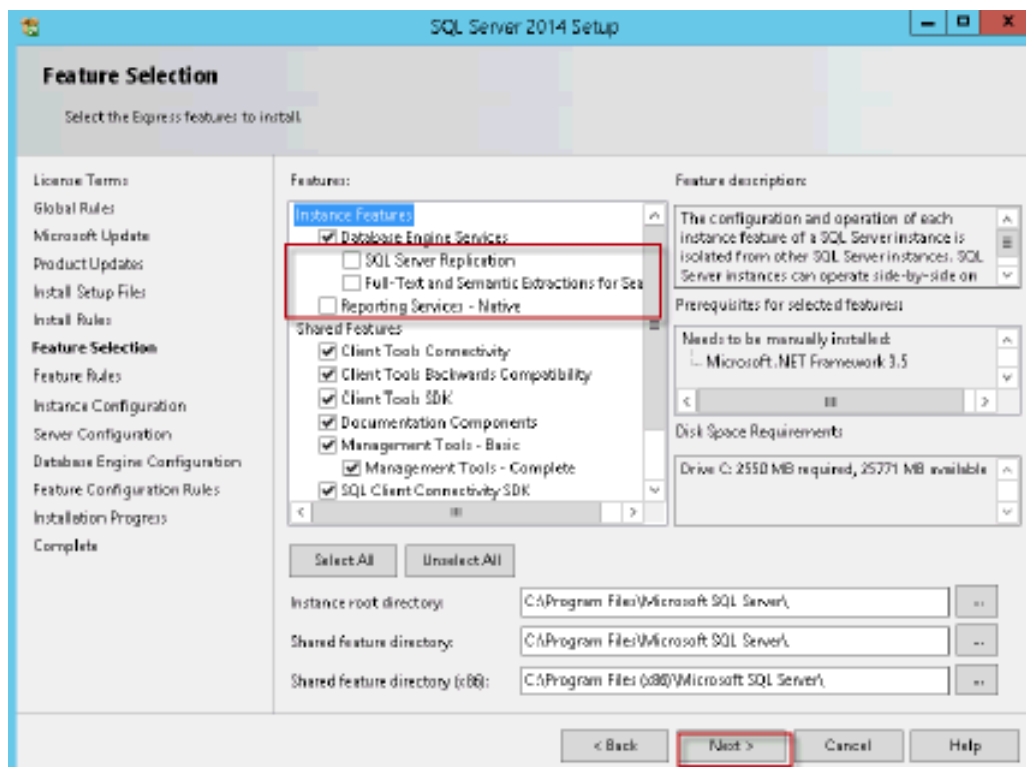
次にMicrosoft SQL Server® 2014 or 2016 Expressもしくはそれ以上のバージョンをインストールします。
このマニュアルでは「SQL Server 2014 Express SP1 with Advanced Services 64-bit」をインストールします。
インストール時に以下の3オプションはインストールしないようご注意ください。

- | SQL SERVER REPLICATION
- | FULL-TEXT INDEXER
- | REPORTING SERVICES

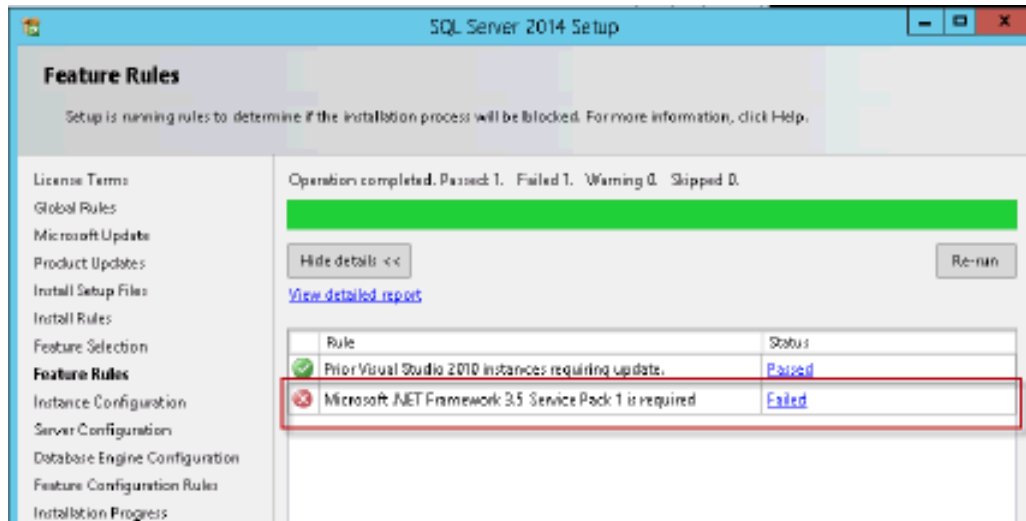
メディアはマイクロソフト社のサイトから最新版をダウンロードしてご利用下さい。



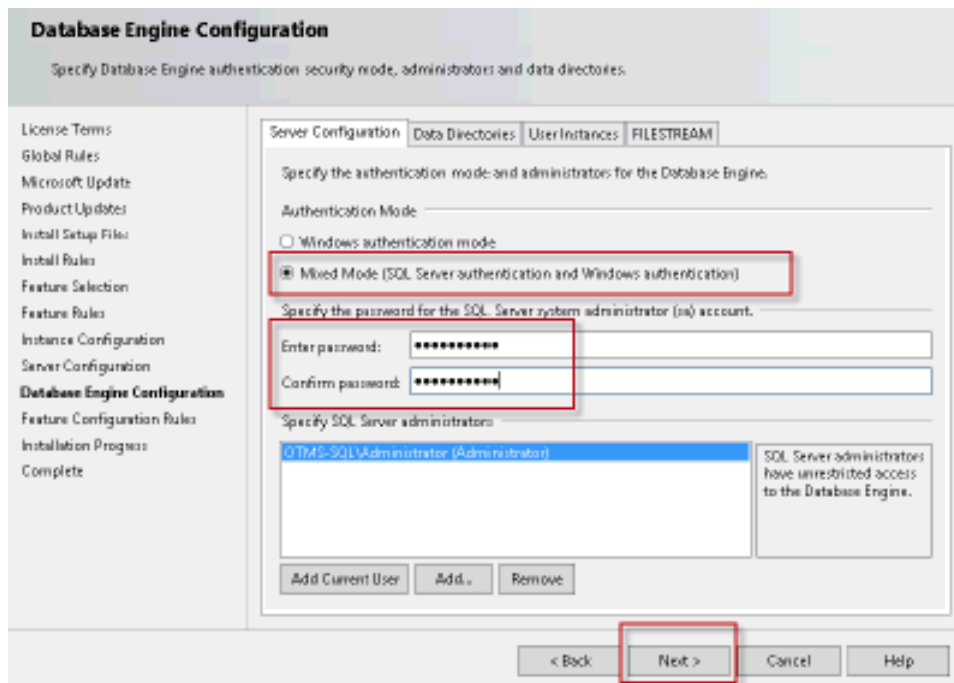
セットアップウィザードでは以下の3オプションのチェックを外してください。



以下のようなメッセージが表示された場合は「.NET 3.5 Framework」がインストールされていません。
インストールを行ってから再度試みてください。



管理者の登録画面で、認証モードは「混在モード」を選択してsaのパスワードを登録してください。

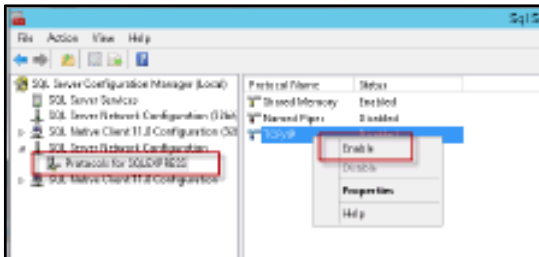


3.SQL環境構築 -

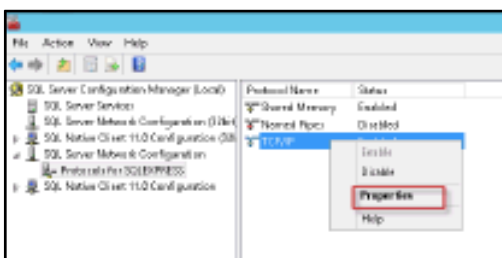
SQLサーバーの使用するTCP/IPポートを変更します

SQL Server Configuration Managerを起動します。

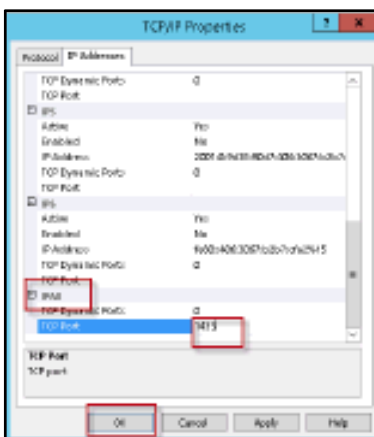
インストールしたSQLのネットワーク構成を開きTCP/IPを選択して右ボタンショートカットから「有効」にします。



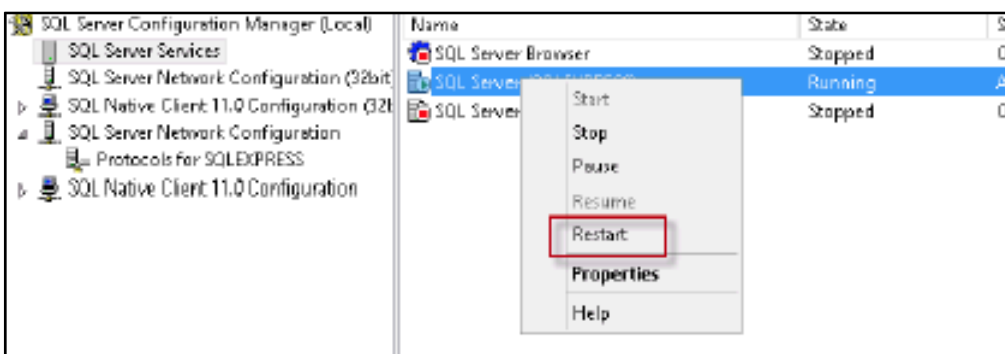
続いて「プロパティ」を選択して開きます。



「IPアドレス」タブの中で「IPAll」までスクロールし「TCP Port」の値を「1433」に変更して「OK」で保存します。

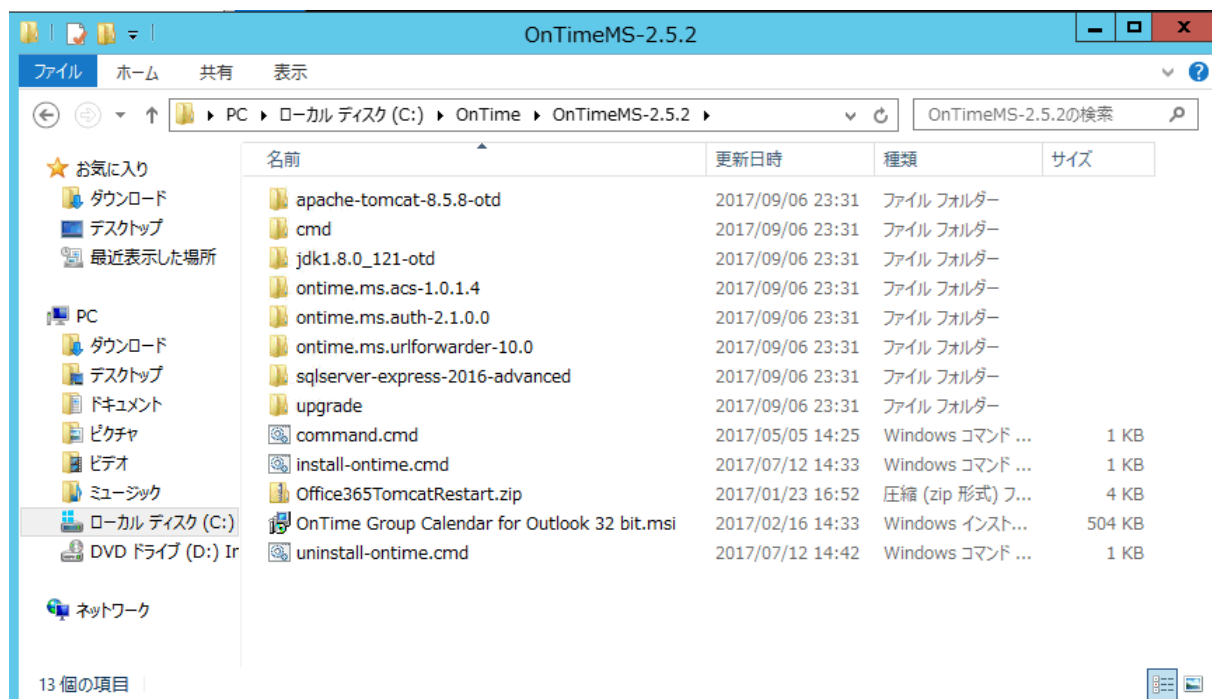


保存後にリスタートを実行するのを忘れないようにして下さい。



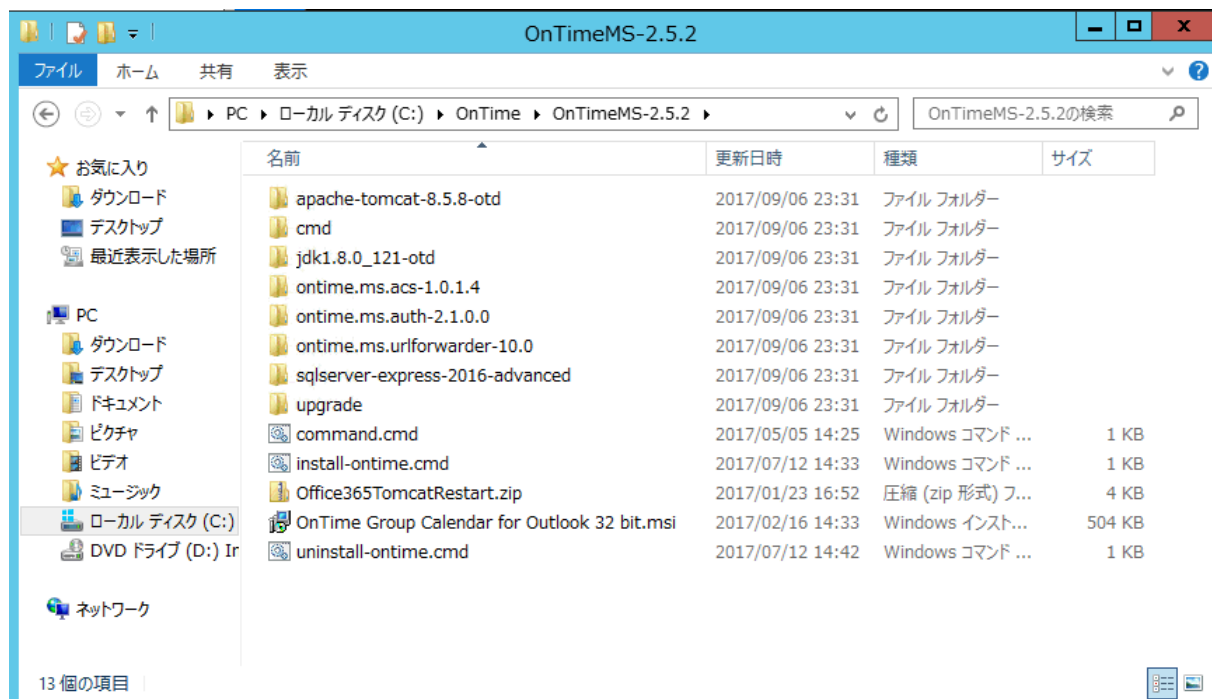
ダウンロードしたファイルを展開します

ダウンロードしたzipファイルを展開すると下図の様になります。
展開フォルダ内にTomcatはインストールされますので組織内のプログラムを保存するフォルダ内に展開して下さい。



インストール作業

新しくダウンロードしたバージョンのOnTimeのフォルダに移動します。



install-ontime.cmdをマウスの右ボタンでクリック。「管理者として実行」を選択。

このプログラムは以下の処理を実行します。

- | 新しいデータベースを作成します。
- | 新しいテーブルを作成します。
- | Integrated Securityを有効にします。
- | Tomcatサービスをインストールして開始します。
- | Authサービスをインストールして開始します。
- | URLForwarderサービスをインストールして開始します。

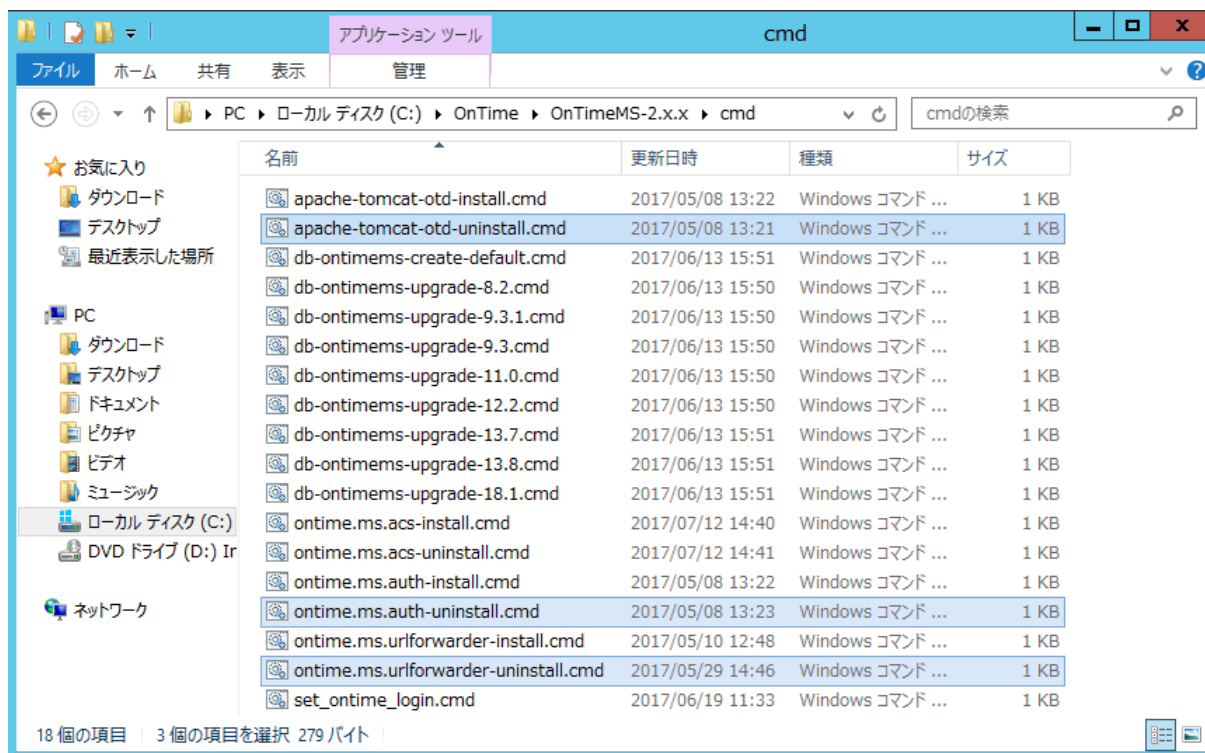
以上でOnTimeのインストールは完了です。
引き続き設定を行うためOnTime管理センターを開きます。

4.OnTimeインストール -

アップグレード作業

アップグレードの場合、既存バージョンをアンインストールしてから新バージョンをインストールします。

現行バージョンのOnTimeのフォルダに移動します。
更にcmdフォルダに移動します。



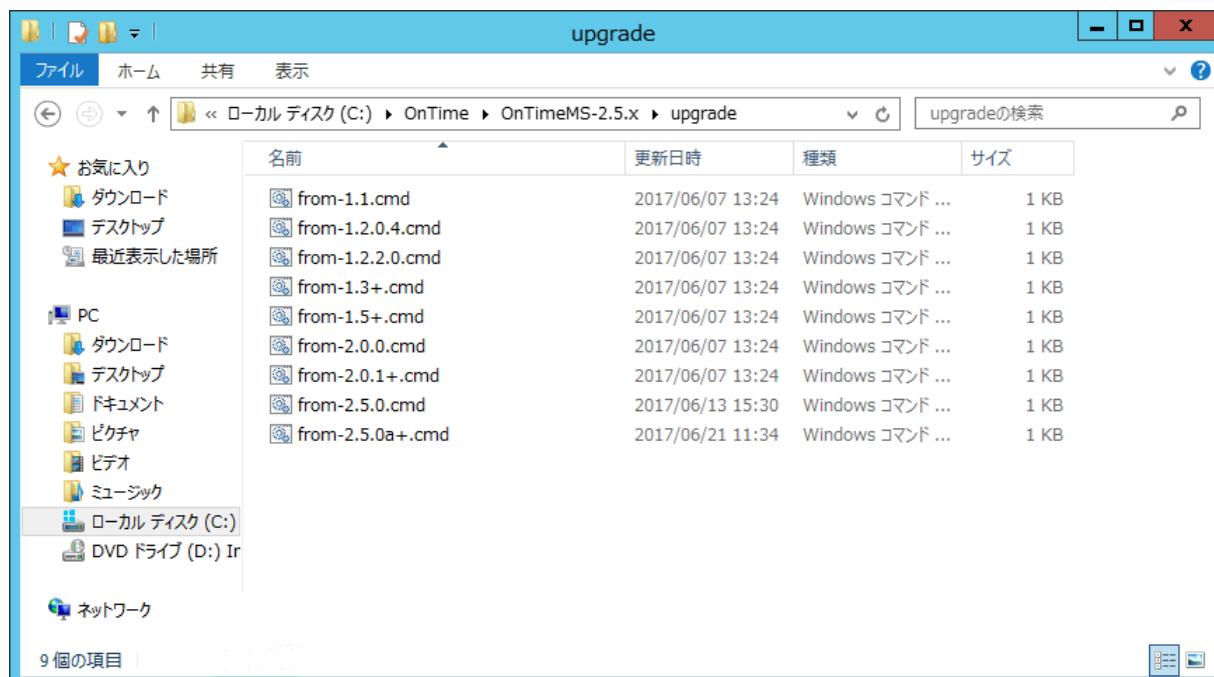
上記3つのアンインストールプログラムをそれぞれ個別に実行します。

ontime.ms.urlforwarder-uninstall.cmdをマウスの右ボタンでクリック。「管理者として実行」を選択。
ontime.ms.auth-uninstall.cmdをマウスの右ボタンでクリック。「管理者として実行」を選択。
apache-tomcat-otd-uninstall.cmdをマウスの右ボタンでクリック。「管理者として実行」を選択。

以上でアップグレードの準備は完了です。

次にアップグレードプログラムを実行します。

新しくダウンロードしたバージョンのOnTimeのフォルダに移動します。
更にupgradeフォルダに移動します。



ご利用になっていたバージョン名のアップグレードプログラムを実行します。
例えば2.5.1をご利用の場合は以下の通りです。

`from-2.5.0a+.cmd`をマウスの右ボタンでクリック。「管理者として実行」を選択。

このプログラムは以下の処理を実行します。

- | 新しいデータベースを作成します。
- | 新しいテーブルを作成します。
- | 既存バージョンのデータを新しいデータベースに転送します。
- | Integrated Securityを有効にします。
- | Tomcatサービスをインストールして開始します。
- | Authサービスをインストールして開始します。
- | URLForwarderサービスをインストールして開始します。

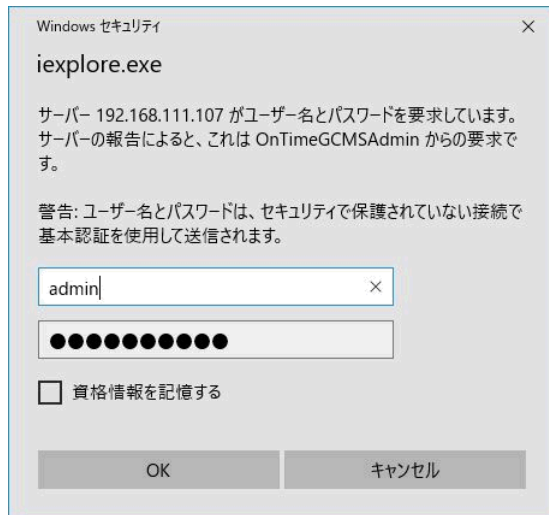
以上で新バージョンのOnTime管理センターを開くことができます。

5. OnTime 管理センター -

OnTime 管理センターにログインします

ブラウザから
<http://HOSTNAME:8080/ontimegcms/admin>
を開いてログインして下さい。

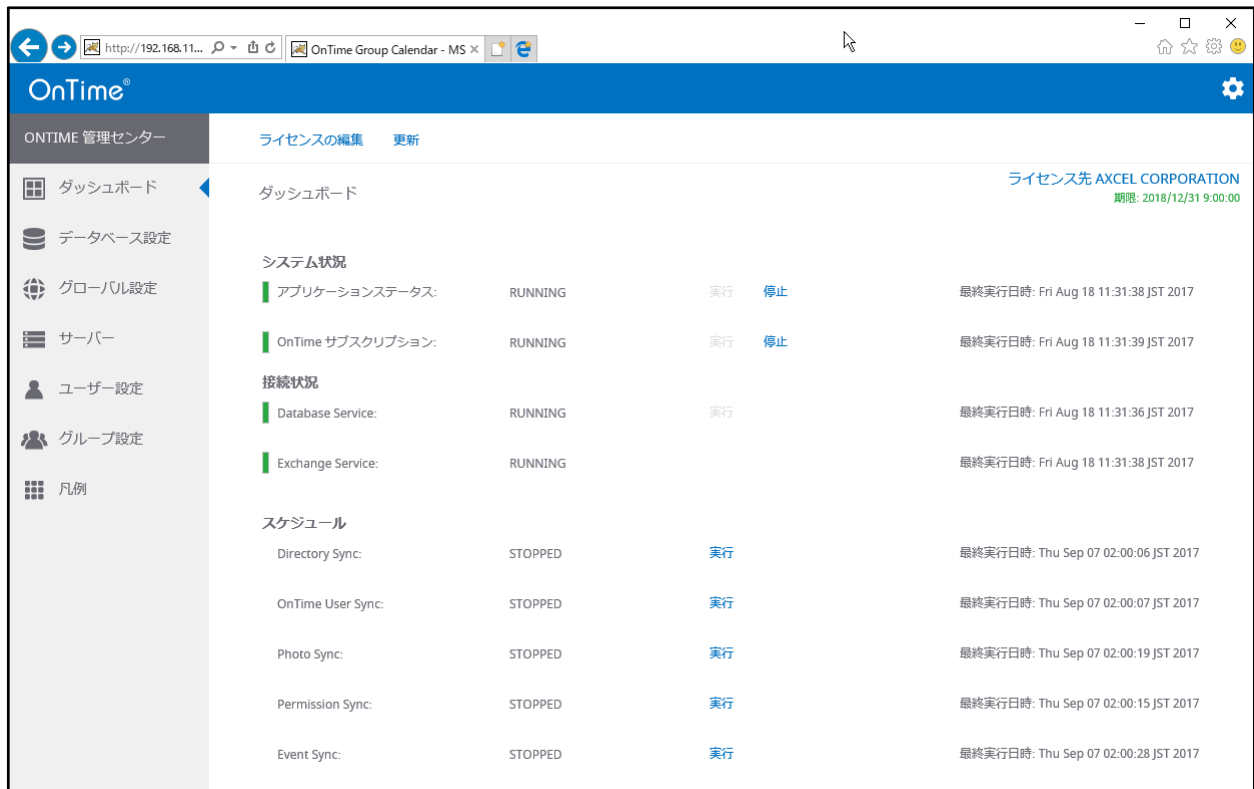
ログイン画面が表示されれば
ログイン名 : **admin**
パスワード : **Innovation**
でログインします。



ログインユーザー名とパスワードのダイジェスト認証への変更は動作するTomcatのユーザー管理に準拠していません。
詳細は以下のurlをご確認下さい。
「管理ユーザーのログインパスワードの変更方法」
<http://www3.ontimesuite.jp/change-pw/>

ダッシュボード

ログインが完了すると以下の様な画面が表示されます。
 画像では日本語になっていますが、最初は英語です。(言語変更については「言語設定」ページを参照下さい。)
 全ての設定はSQLデータベースに保管されますのでまず最初に「データベース設定」ページをご確認下さい。



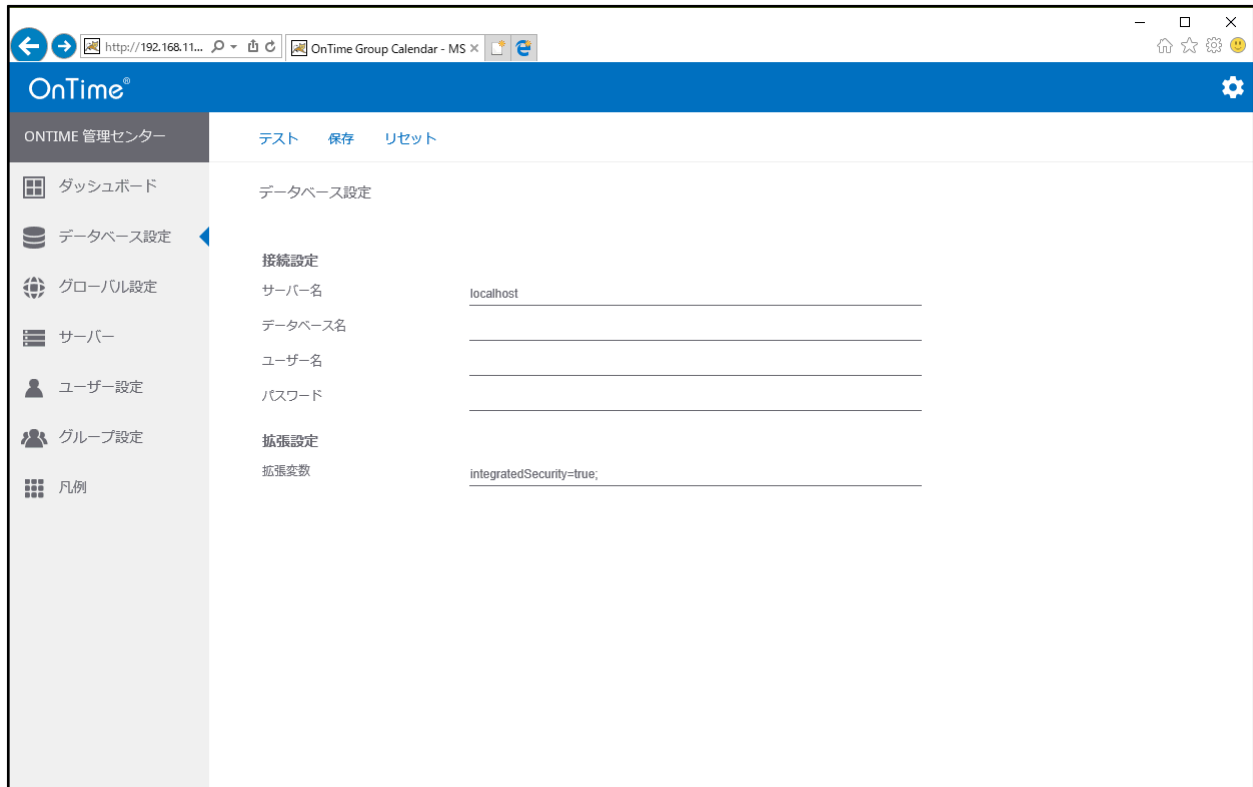
システム状況 いずれも通常はグリーンです	
アプリケーションステータス	OnTimeアプリケーションの動作状況のステータスを表示します
OnTimeサブスクリプション	OnTimeのライセンスキーの有効性を表示します
接続状況 いずれも通常はグリーンです	
Database Service	SQLデータベースとの接続状況を表示します。
Exchange Service	Exchange EWSとの接続状況を表示します。
スケジュール いずれも通常はSTOPPEDで問題ありません。設定を急いで反映する場合は手動実行出来ます 通常は自動実行され、Eventはほぼリアルタイム、他はAdmin処理で深夜2時に実行されます	
Directory Sync	Exchangeからユーザー/グループを更新します
OnTime User Sync	Exchangeユーザ/グループをOnTime SQLテーブルに同期させます
Photo Sync	Exchange 2013サーバーからユーザーの顔写真をインポートします Exchange2010以前はサポートしません
Permission Sync	他のユーザーのカレンダーを更新するためのユーザーのアクセス権限を更新します
Event Sync	すべてのユーザーのカレンダーエントリを同期します。起動時と手動実行時はかなりの時間がかかります

5. OnTime 管理センター

データベース設定

OnTime の設定や同期データは全て SQL データベースに保存されます。
 なので SQL データベースとの接続をインストール時もアップグレード時も一番最初に行ってください。

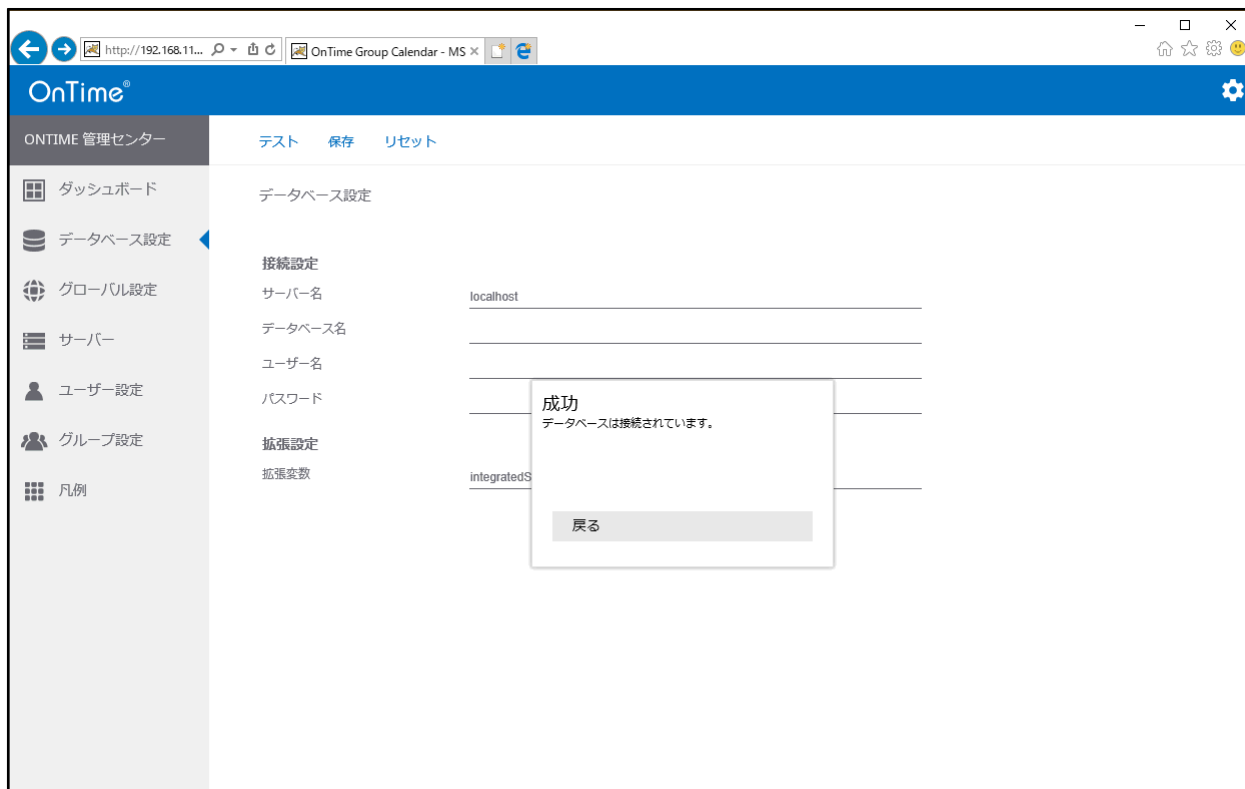
- メニュータブで「データベース設定」を開きます。
 各項目に値を登録します。
 今回は同じサーバーにインストールされた SQL サーバーに接続しますので
- ! サーバー名に「localhost」
 - ! 拡張変数に「integratedSecurity=true;」
 だけ登録します。



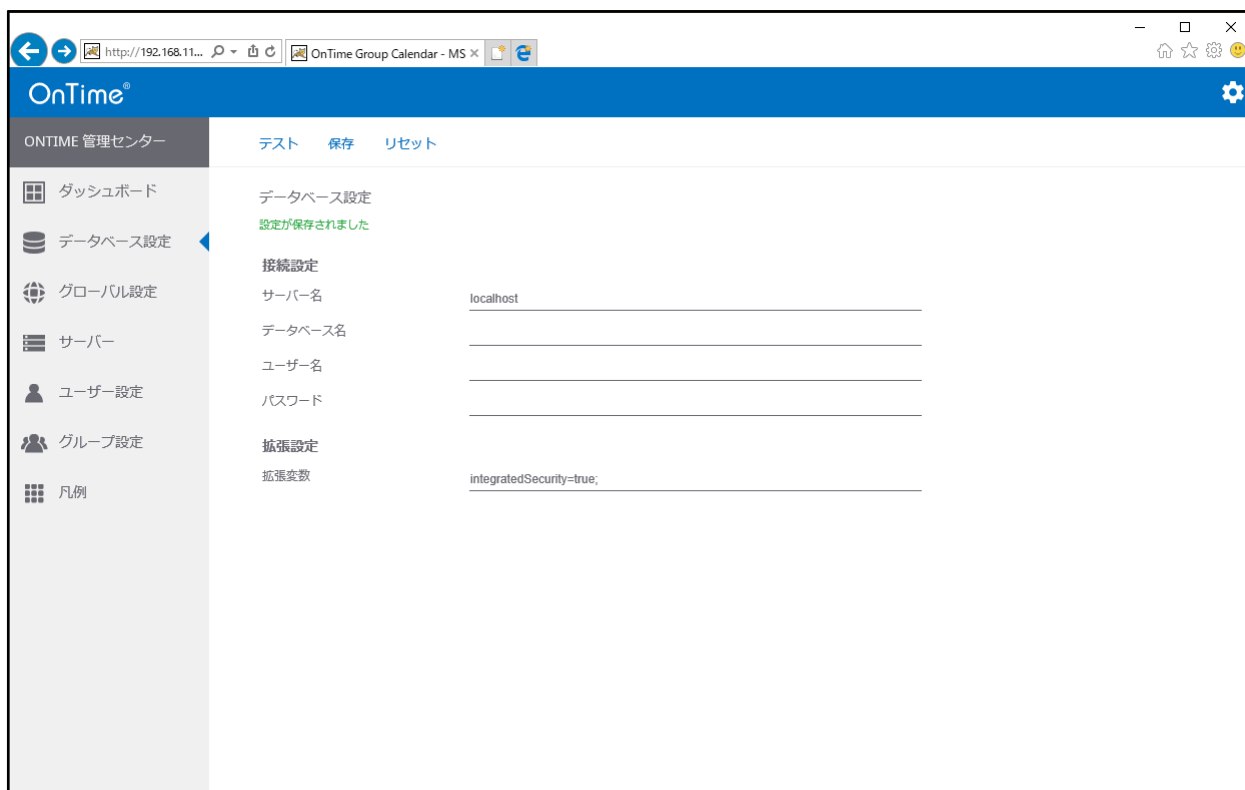
項目名	内容
サーバー名	localhost もしくは SQL が稼働する外部ホスト名を入力 例:localhost
データベース名	SQL サーバーにインストール下データベース名を入力 例:ontimems.13.8
ユーザー名	OnTimeApp
パスワード	登録時に設定したパスワード
拡張変数	SQL との接続に必要な追加変数がある場合は登録します

入力したら左上の「テスト」をクリックします。

正しく接続出来た場合は以下の様な「成功」ダイアログが表示されます。「戻る」を押してダイアログを閉じます。
正しく接続出来ない場合は「エラー」ダイアログが表示されます。適宜修正して下さい。



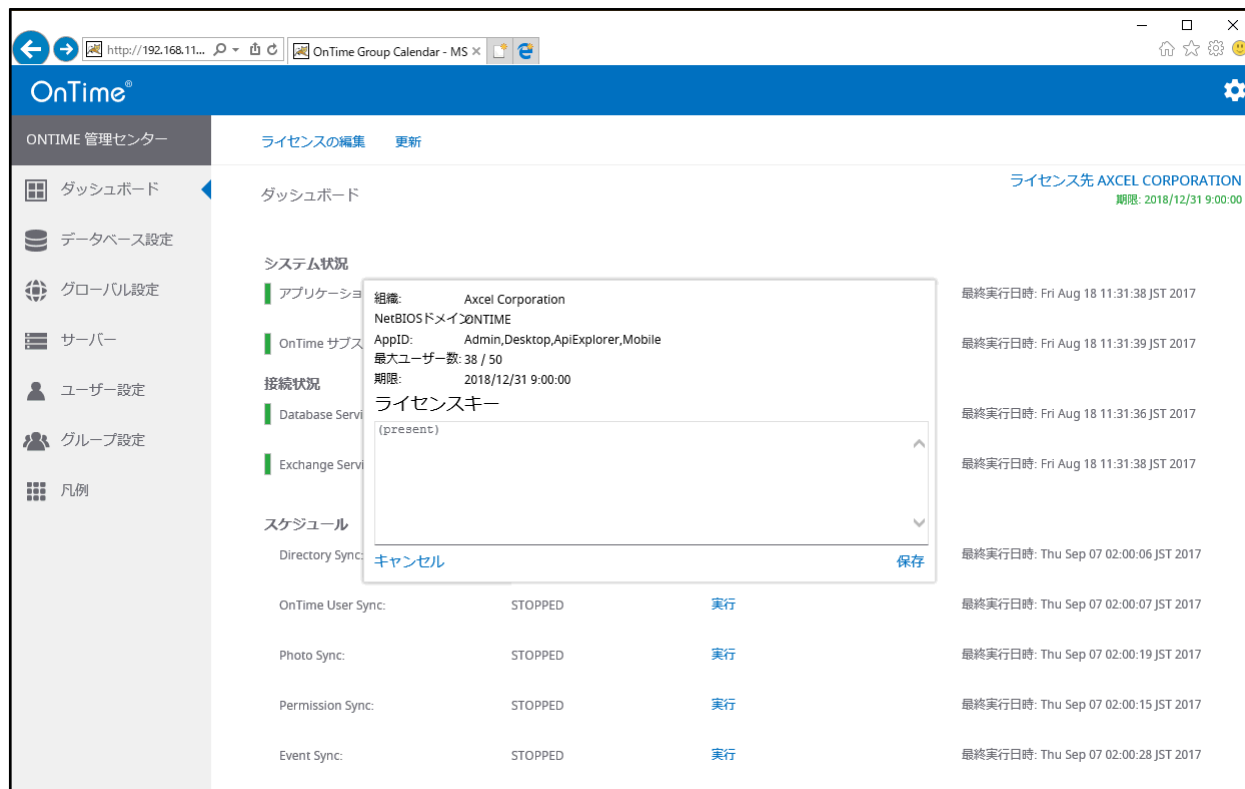
引き続き左上の「保存」ボタンを押して設定を保存します。
図のように画面左上に「設定が保存されました」と表示されます。



通常、設定を変更した際はアプリケーションの再起動が必要です。
ダッシュボードに戻り、「アプリケーションステータス」から「停止」「実行」を操作して下さい。

ライセンス登録

OnTimeのライセンスは、乱数のような文字列で提供しております。
 取得したライセンスキーの登録は左上の「ライセンスの編集」をクリックして登録用ダイアログを表示します。
 表示されたら前述の文字列を登録して「保存」を実行します。
 ご利用のライセンス情報についてはいつでもこのダイアログを表示することで確認出来ます。



The screenshot shows the OnTime management center interface. A modal dialog box is open for editing the license. The dialog contains the following information:

- 組織: Axcel Corporation
- NetBIOSドメイン: ONTIME
- AppID: Admin,Desktop,ApiExplorer,Mobile
- 最大ユーザー数: 38 / 50
- 期限: 2018/12/31 9:00:00
- ライセンスキー: (present)

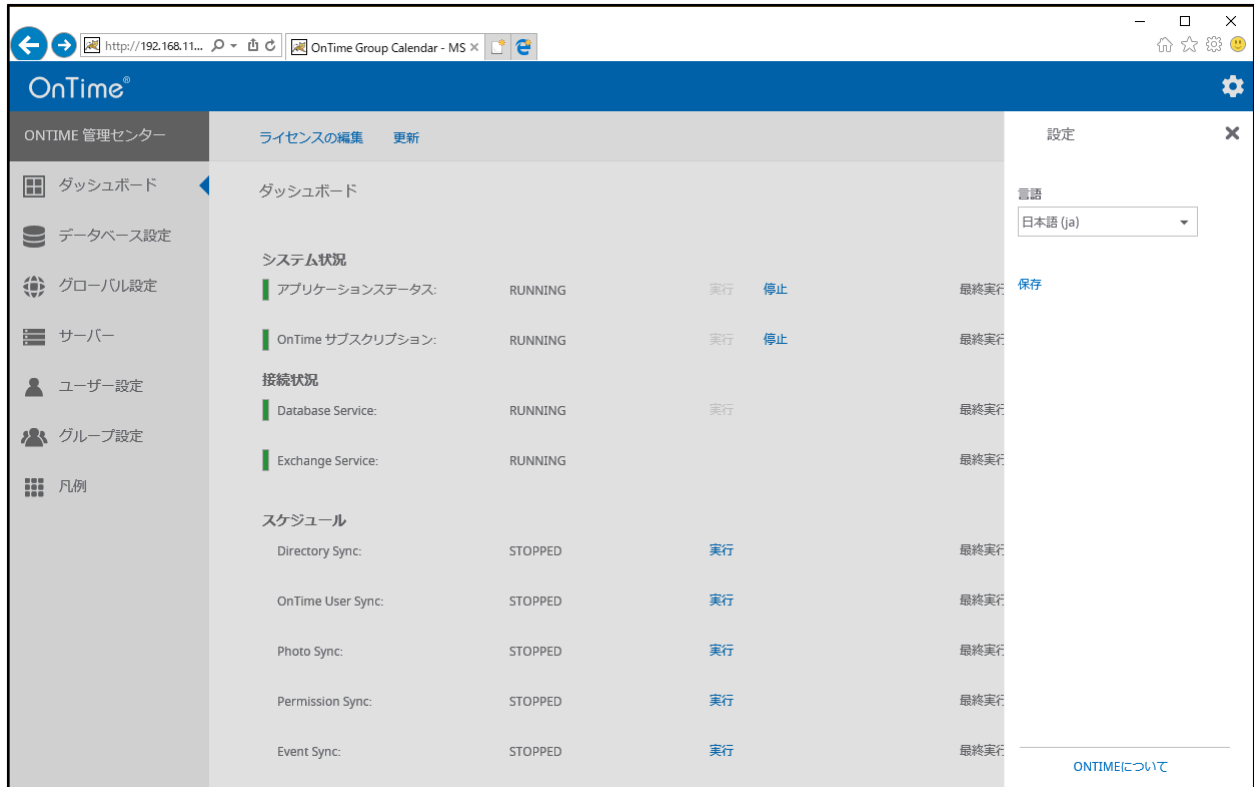
Buttons for 'キャンセル' (Cancel) and '保存' (Save) are visible at the bottom of the dialog. The background shows the 'ライセンスの編集' (Edit License) page with a table of system status and a list of sync tasks.

システム状況	最終実行日時
アプリケーション	最終実行日時: Fri Aug 18 11:31:38 JST 2017
OnTime サブシステム	最終実行日時: Fri Aug 18 11:31:39 JST 2017
接続状況	最終実行日時: Fri Aug 18 11:31:36 JST 2017
Database Service	最終実行日時: Fri Aug 18 11:31:38 JST 2017
Exchange Service	最終実行日時: Fri Aug 18 11:31:38 JST 2017
スケジュール	最終実行日時: Thu Sep 07 02:00:06 JST 2017
Directory Sync:	最終実行日時: Thu Sep 07 02:00:07 JST 2017
OnTime User Sync:	最終実行日時: Thu Sep 07 02:00:19 JST 2017
Photo Sync:	最終実行日時: Thu Sep 07 02:00:15 JST 2017
Permission Sync:	最終実行日時: Thu Sep 07 02:00:28 JST 2017
Event Sync:	

ライセンス発行時に必要となるUSERDOMAIN情報については以下のFAQを参照下さい。
<http://www3.ontimesuite.jp/userdomain/>

言語設定

OnTime管理センターは英語と日本語をサポートしています。
画面右上の歯車アイコンをクリックして適宜切り替えて下さい。

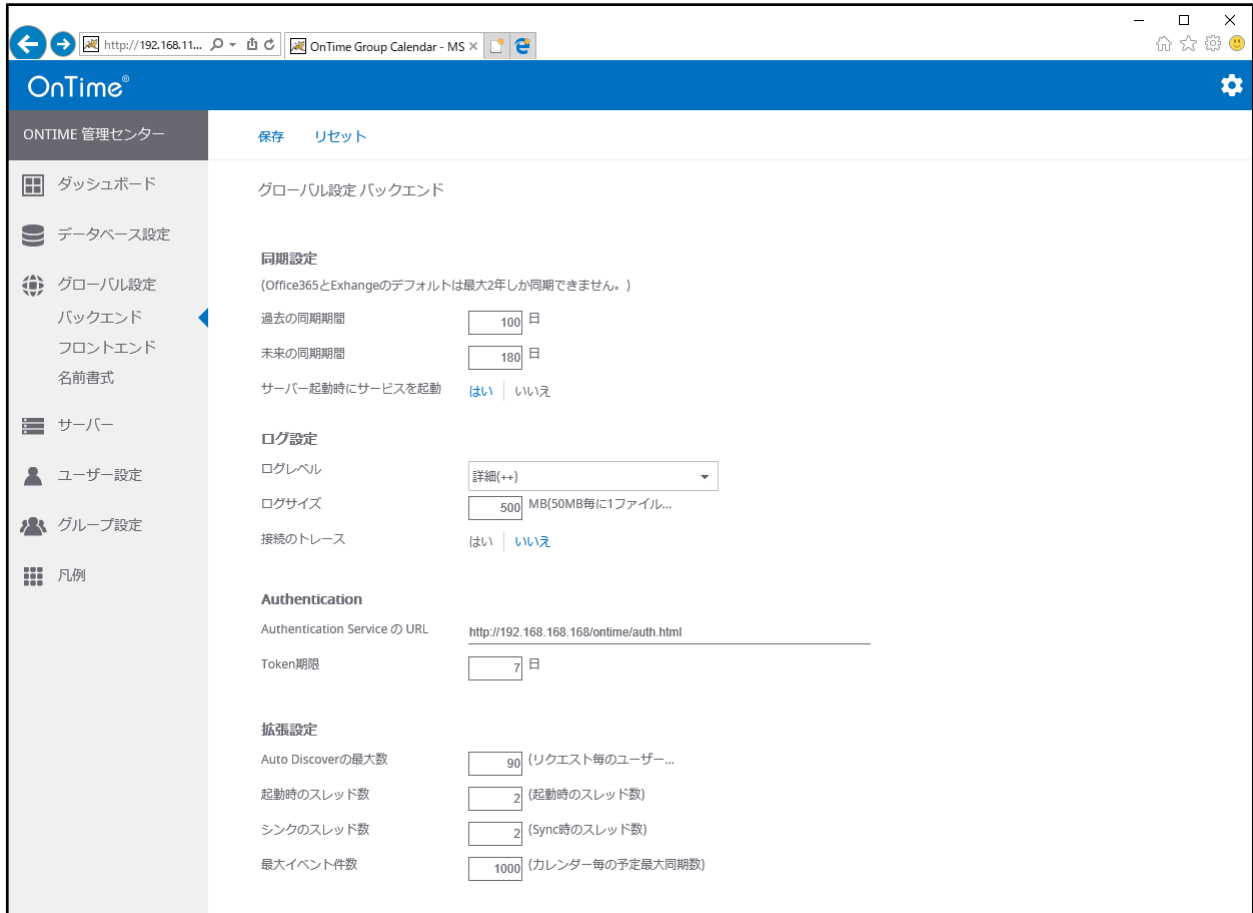


The screenshot shows the OnTime management center interface. The top navigation bar includes the OnTime logo and a gear icon for settings. The left sidebar lists various management options. The main content area displays system status, connection status, and a schedule table. A settings modal is open on the right, showing the language selection dropdown set to Japanese (ja).

システム状況	ステータス	実行	停止	最終実行
アプリケーションステータス:	RUNNING	実行	停止	最終実行
OnTime サブスクリプション:	RUNNING	実行	停止	最終実行
接続状況				
Database Service:	RUNNING	実行		最終実行
Exchange Service:	RUNNING			最終実行
スケジュール				
Directory Sync:	STOPPED	実行		最終実行
OnTime User Sync:	STOPPED	実行		最終実行
Photo Sync:	STOPPED	実行		最終実行
Permission Sync:	STOPPED	実行		最終実行
Event Sync:	STOPPED	実行		最終実行

グローバル設定-バックエンド

このページではOnTimeサーバーのバックエンドの同期や保守系の各種設定が行えます。



The screenshot shows the OnTime management center interface. The left sidebar contains navigation options: ダッシュボード, データベース設定, グローバル設定 (selected), バックエンド (selected), フロントエンド, 名前書式, サーバー, ユーザー設定, グループ設定, and 凡例. The main content area is titled 'グローバル設定 バックエンド' and includes sections for '同期設定', 'ログ設定', 'Authentication', and '拡張設定'. Each section contains various configuration fields and checkboxes.

項目	設定値	注釈
過去の同期期間	100 日	
未来の同期期間	180 日	
サーバー起動時にサービスを起動	はい いいえ	
ログレベル	詳細(++)	
ログサイズ	500 MB(50MB毎に1ファイル...)	
接続のトレース	はい いいえ	
Authentication Service の URL	http://192.168.168.168/ontime/auth.html	
Token期限	7 日	
Auto Discoverの最大数	90	(リクエスト毎のユーザー...)
起動時のスレッド数	2	(起動時のスレッド数)
シンクのスレッド数	2	(Sync時のスレッド数)
最大イベント件数	1000	(カレンダー毎の予定最大同期数)

項目の内容については次ページでご説明します。

同期設定 Exchangeとの同期期間を指定できます。但しOffice365はそもそも2年分しか保持していないことを留意下さい。	
過去の同期期間	過去の同期期間の日数を指定します
未来の同期期間	未来の同期期間の日数を指定します
サーバー起動時にサービスを起動	初回の設定作業時は「いいえ」にして作業を行って頂くことで設定変更の度に同期が勝手に起動しないように出来ます。 設定が完了すれば「はい」に切り替えて頂くことでTomcatが起動する度に自動で各同期サービスが起動するように出来ます。
ログ設定 Tomcatのログのレベルと保存するファイルサイズを指定できます。通常は変更しないで下さい。	
ログレベル	ログレベルを変更することでログの内容を変更出来ます。
ログサイズ	総ファイルサイズを指定できます。 いずれにしても50MB毎に新しいファイルが作成されます。
接続のトレース	更なる細かいトレースデータが必要になる際に「はい」にします。 通常は「いいえ」にしてください。ログファイルは別途作成されます。
Authentication	
Authentication Service URL	ADとのSSOを使用する際に指定します。通常は以下のurlとなります。 http://OnTimeのホスト名/ontime/auth.html
Token期限	OnTimeのToken有効期限を指定出来ます。
拡張設定 通常は変更しないで下さい。	
Auto Discoverの最大数	90は現行Office365の最大設定です。
起動時スレッド数	スレッド数の変更はOnTimeサポートから依頼無しでは変更しないで下さい。
シンクのスレッド数	スレッド数の変更はOnTimeサポートから依頼無しでは変更しないで下さい。
最大イベント件数	1000は現行Office365の最大設定です。

グローバル設定-フロントエンド

このページではユーザー向けの各種設定が可能です。

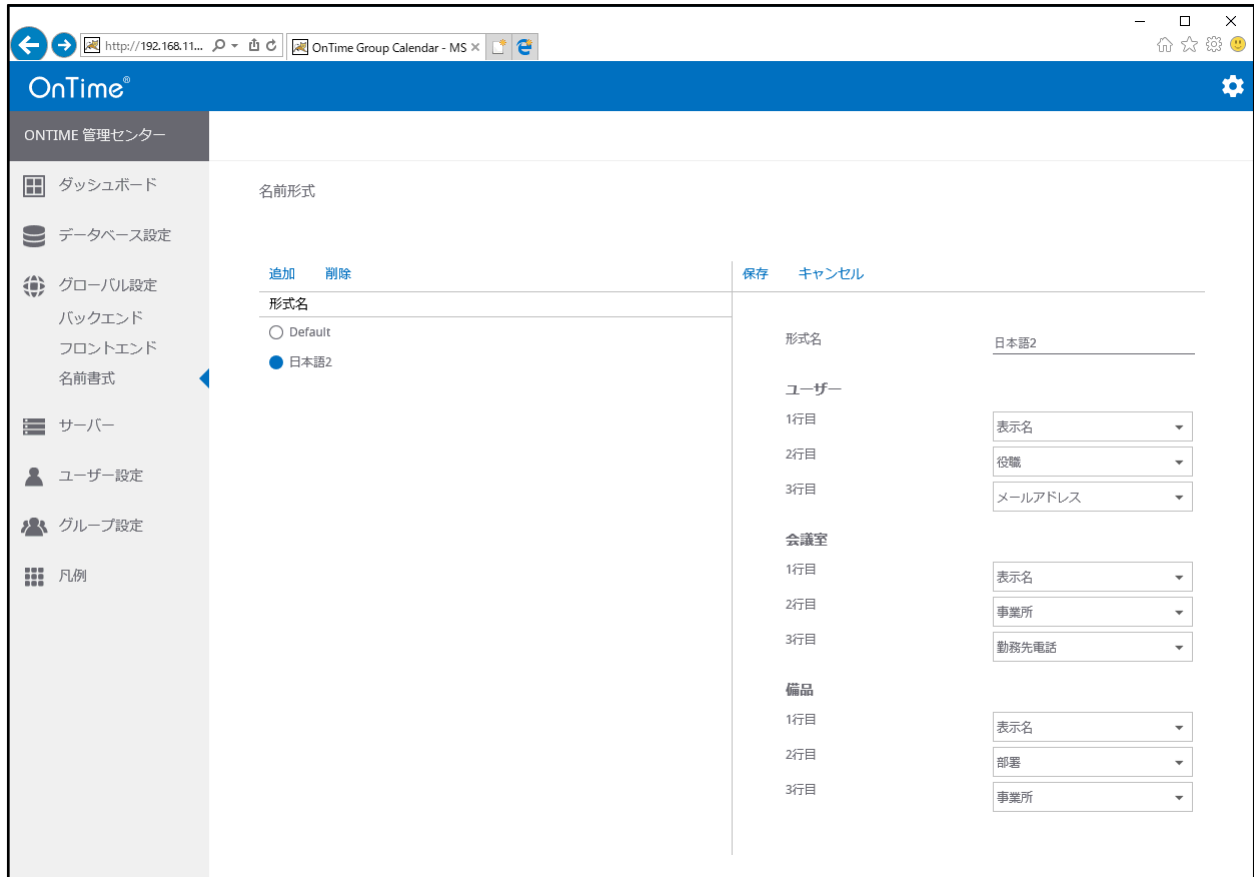


凡例表示設定	
常に凡例を表示	はい・・・参照しているユーザーへの権限に依存せず凡例の色で表示します。 いいえ・・・参照しているユーザーへの権限がある場合に凡例の色で表示。

非表示条件設定	
指定した条件に合致する場合は、他人にはその予定を表示されないように出来ます。 条件は複数登録可能です。 項目はOutlookで指定出来る内容と同じです。AND条件となります。 ただし、この機能はOnTime内の機能なのでOutlookで直接共有で開く場合には表示されますのでご注意ください。	
追加 削除	追加・・・非表示条件を新規に作成します。 削除・・・選択した非表示条件を削除します。
リストに反映 追加しない	リストに反映・・・設定した条件を非表示条件リストに追加します キャンセル・・・設定中の非表示条件の編集をやめます

グローバル設定-名前書式

このページでは名前表記をカスタマイズ出来ます。
 こちらで準備した複数の名前表記は後述するユーザー設定にて個別のユーザーやグループに反映出来ます。
 名前書式の修正後、ユーザーのデフォルト設定には即時で反映はされません。
 一度名前を変更して保存して再度ユーザーのデフォルト設定に反映させて下さい。

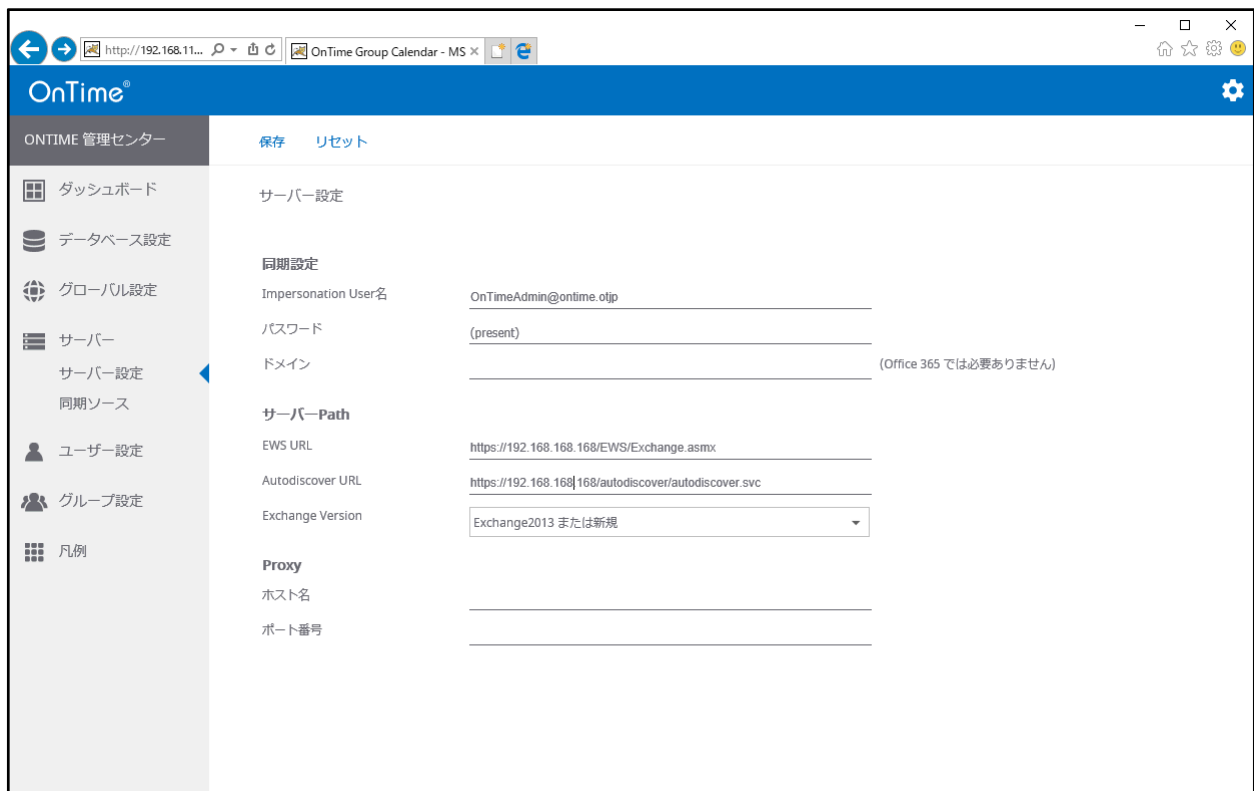


名前書式	
追加 削除	追加・・・名前書式を新規に作成します。 削除・・・選択した名前書式を削除します。
保存 キャンセル	保存・・・表示した名前書式に追加します キャンセル・・・設定中の非表示条件の編集をやめます

設定項目	
形式名	管理用の名称です。 ユーザーのデフォルト設定ではこの形式名が選択肢に表示されます。
ユーザー 会議室 備品	各タイプ毎に表示内容を設定出来ます。
1行目 2行目 3行目	メインビューでの表示及びユーザープロフィールで表示されます。 選択項目はExchangeのユーザー情報から選択します。

サーバー-サーバー設定

このページではExchangeサーバーへの接続設定を行います



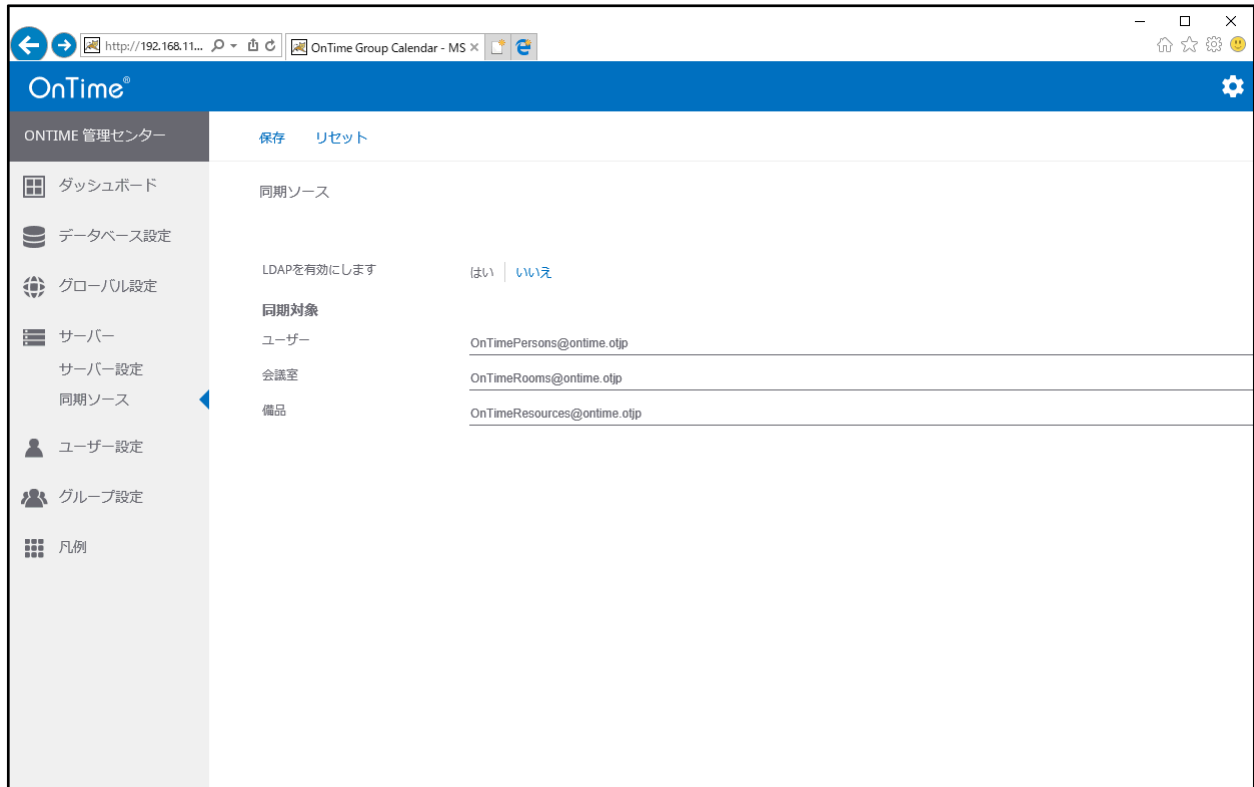
The screenshot shows the 'Server-Server Settings' page in the OnTime management center. The page is titled 'サーバー設定' and includes a '保存' (Save) and 'リセット' (Reset) button. The configuration is organized into sections: '同期設定' (Synchronization Settings) with fields for 'Impersonation User名' (OnTimeAdmin@ontime.otjp), 'パスワード' (present), and 'ドメイン' (Office 365では必要ありません); 'サーバーPath' (Server Path) with fields for 'EWS URL' (https://192.168.168.168/EWS/Exchange.asmx), 'Autodiscover URL' (https://192.168.168.168/autodiscover/autodiscover.svc), and 'Exchange Version' (Exchange2013 または新規); and 'Proxy' (Proxy) with fields for 'ホスト名' and 'ポート番号'.

同期設定 ExchangeのEWSに接続するApplicationImpersonationのユーザー情報です。予めご準備下さい。	
Impersonation User名	通常はメールアドレス形式での登録です。 "\"を使用したドメインネームで登録時はローカルパートを設定してください。
パスワード	パスワードを設定してください。
ドメイン	"\"を使用した登録の際はドメイン名を設定してください。
サーバーPath Exchangeサーバーの情報です	
EWS URL	オンプレのExchangeの場合は適宜変更してください。Office365の場合はデフォルトです。 https://outlook.office365.com/EWS/Exchange.asmx
Autodiscover URL	オンプレのExchangeの場合は適宜変更してください。Office365の場合はデフォルトです。 https://outlook.office365.com/autodiscover/autodiscover.svc
Exchange Version	ご利用のExchangeのバージョンを選択してください。Office365はExchange2013の方を選択してください。
Proxy OnTimeサーバーからExchangeサーバーにProxyを経由する必要がある場合は設定してください。	
ホスト名	ホスト名を設定してください。
ポート番号	ポート番号を設定してください。

5. OnTime 管理センター -

サーバー-同期ソース

このページではExchangeと同期するユーザーやリソースを指定できます。
予め準備したユーザー、会議室、備品、それぞれの配布グループを登録してください。
複数のグループアドレスを登録する際はカンマで区切ってください。



The screenshot shows the OnTime management center interface. The left sidebar contains navigation options: ダッシュボード, データベース設定, グローバル設定, サーバー (selected), ユーザー設定, グループ設定, and 凡例. Under 'サーバー', '同期ソース' is selected. The main content area is titled '同期ソース' and includes a '保存' (Save) and 'リセット' (Reset) button. Below this, there is a toggle for 'LDAPを有効にします' (Enable LDAP) with radio buttons for 'はい' (Yes) and 'いいえ' (No). Under '同期対象' (Sync Targets), there is a table with three rows:

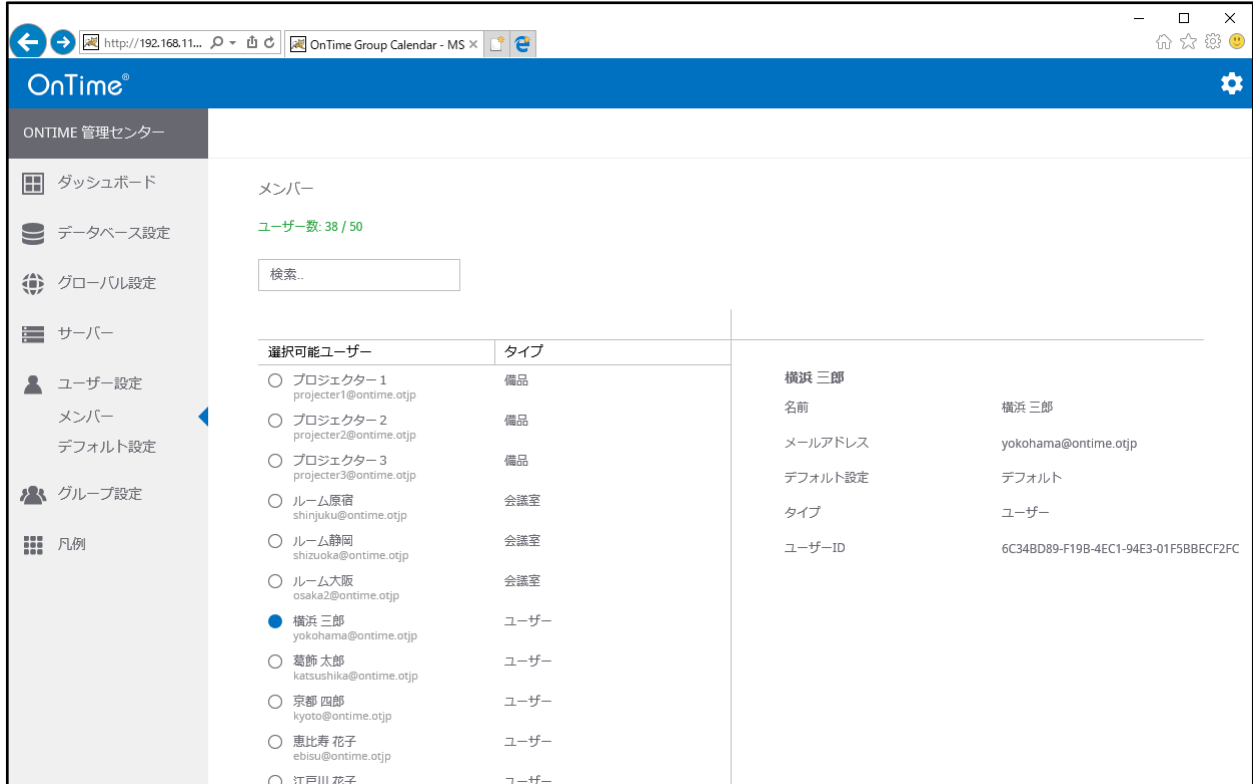
同期対象	ユーザー
ユーザー	OnTimePersons@ontime.otjp
会議室	OnTimeRooms@ontime.otjp
備品	OnTimeResources@ontime.otjp

「LDAPを有効にします」は常に「いいえ」でご利用ください。
日本ではLDAPによる同期ソースの指定は現在サポートしておりません。

5. OnTime 管理センター

ユーザー設定 - メンバー

このページではOnTimeで同期しているユーザーを確認出来ます。
 検索を使用して表示名から検索することも出来ます。
 リストを選択することで右に適用されたデフォルト設定など詳細な情報が表示されます。



The screenshot shows the OnTime management center interface. The left sidebar contains navigation options: ダッシュボード, データベース設定, グローバル設定, サーバー, ユーザー設定, メンバー (selected), デフォルト設定, グループ設定, and 凡例. The main content area is titled 'メンバー' and shows 'ユーザー数: 38 / 50'. A search box is present. Below is a table of '選択可能ユーザー' (Selectable Users) with columns for 'ユーザー名' and 'タイプ'.

選択可能ユーザー	タイプ
<input type="radio"/> プロジェクター1 projecter1@ontime.otjp	備品
<input type="radio"/> プロジェクター2 projecter2@ontime.otjp	備品
<input type="radio"/> プロジェクター3 projecter3@ontime.otjp	備品
<input type="radio"/> ルーム原宿 shinjuku@ontime.otjp	会議室
<input type="radio"/> ルーム静岡 shizuoka@ontime.otjp	会議室
<input type="radio"/> ルーム大阪 osaka2@ontime.otjp	会議室
<input checked="" type="radio"/> 横浜 三郎 yokohama@ontime.otjp	ユーザー
<input type="radio"/> 葛飾 太郎 katsushika@ontime.otjp	ユーザー
<input type="radio"/> 京都 四郎 kyoto@ontime.otjp	ユーザー
<input type="radio"/> 恵比寿 花子 ebisu@ontime.otjp	ユーザー
<input type="radio"/> 江戸川 花子	ユーザー

The detailed view for the selected user '横浜 三郎' (Yokohama Sanjiro) shows the following information:

- 名前: 横浜 三郎
- メールアドレス: yokohama@ontime.otjp
- デフォルト設定: デフォルト
- タイプ: ユーザー
- ユーザーID: 6C34BD89-F19B-4EC1-94E3-01F5BBECF2FC

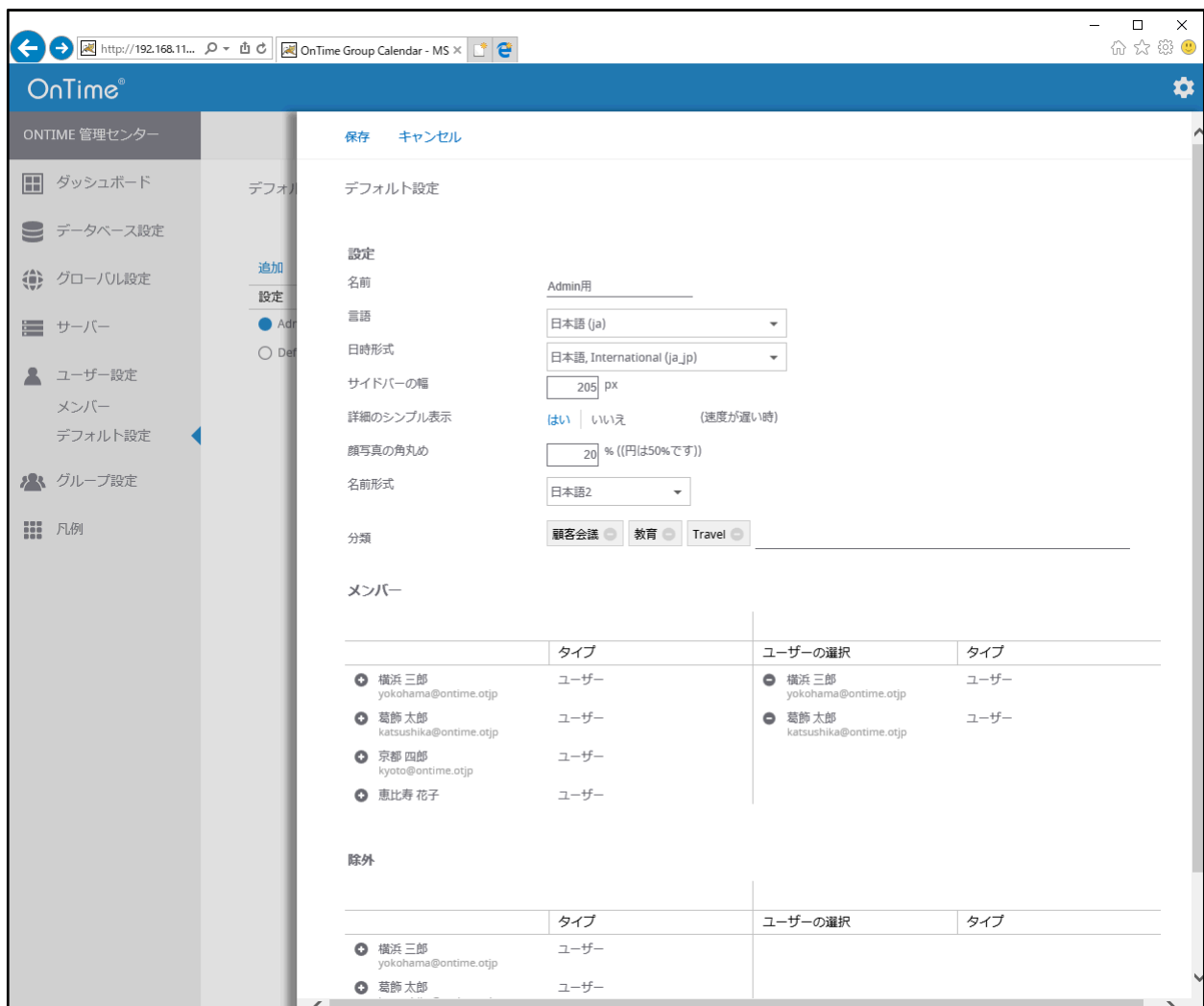
ユーザー設定-デフォルト設定

このページではユーザーが初回にログインしたときの言語や日付書式の設定他が設定できます。



設定	Admin用
言語関連	
言語	日本語 (ja)
日時書式	日本語, International (ja_jp)
表示関連	
分類	顧客会議, 教育, Travel
サイドバーの幅	205 px
顔写真の角丸め	20 %
名前書式	日本語2
パフォーマンス	
詳細のシンプル表示	はい
メンバー	除外

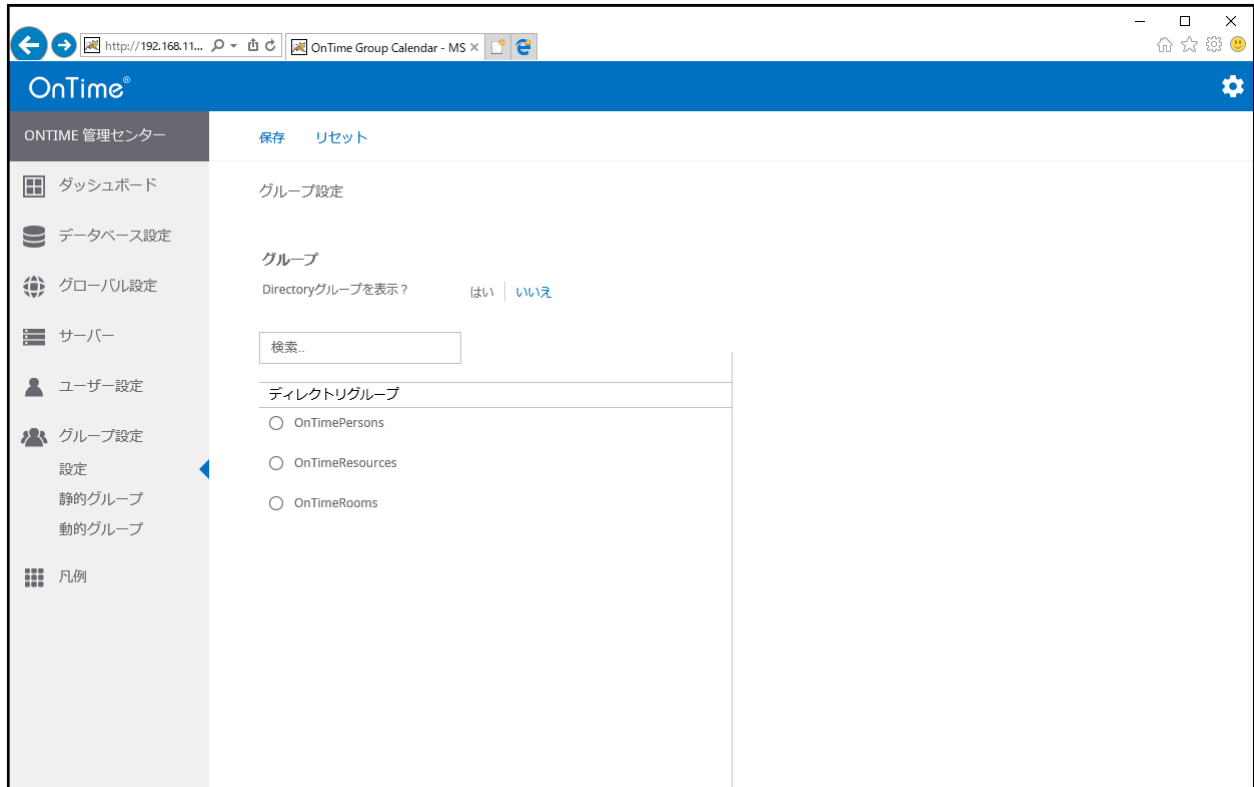
追加もしくはリストから選択して編集を押すと次ページのような画面となります。



言語	ご利用になる言語を選択して下さい。
日時書式	ご利用になる日時書式を選択して下さい。 現在では「日本語 Imperial」はサポート終了しました。
サイドバーの幅	左に表示されるサイドバーの横幅をピクセル単位で設定できます。
詳細のシンプル表示	サーバーが高負荷な場合、予定詳細の最初の表示をシンプル化することでサーバーの負担を軽減できます。実施する際は「はい」を選択して下さい。
顔写真の角丸め	顔写真を正四角(0)から正円(50)まで制御できます。
名前書式	使用する名前書式を指定出来ます。
分類	ご利用になる分類の選択肢をカンマで区切って登録下さい。 選択肢はユーザーのイベント作成画面の分類の選択肢として表示されます。 Outlook上の色分類と同等機能ですが、色表現については更にその他の条件と共に細かく制御できます。詳細は「凡例」を参照下さい。
メンバー	適用するユーザーを指定します。

グループ設定-設定

このページではディレクトリ上のグループを表示グループに使用するかを設定できます。
個別グループ毎の表示/非表示は指定できません。

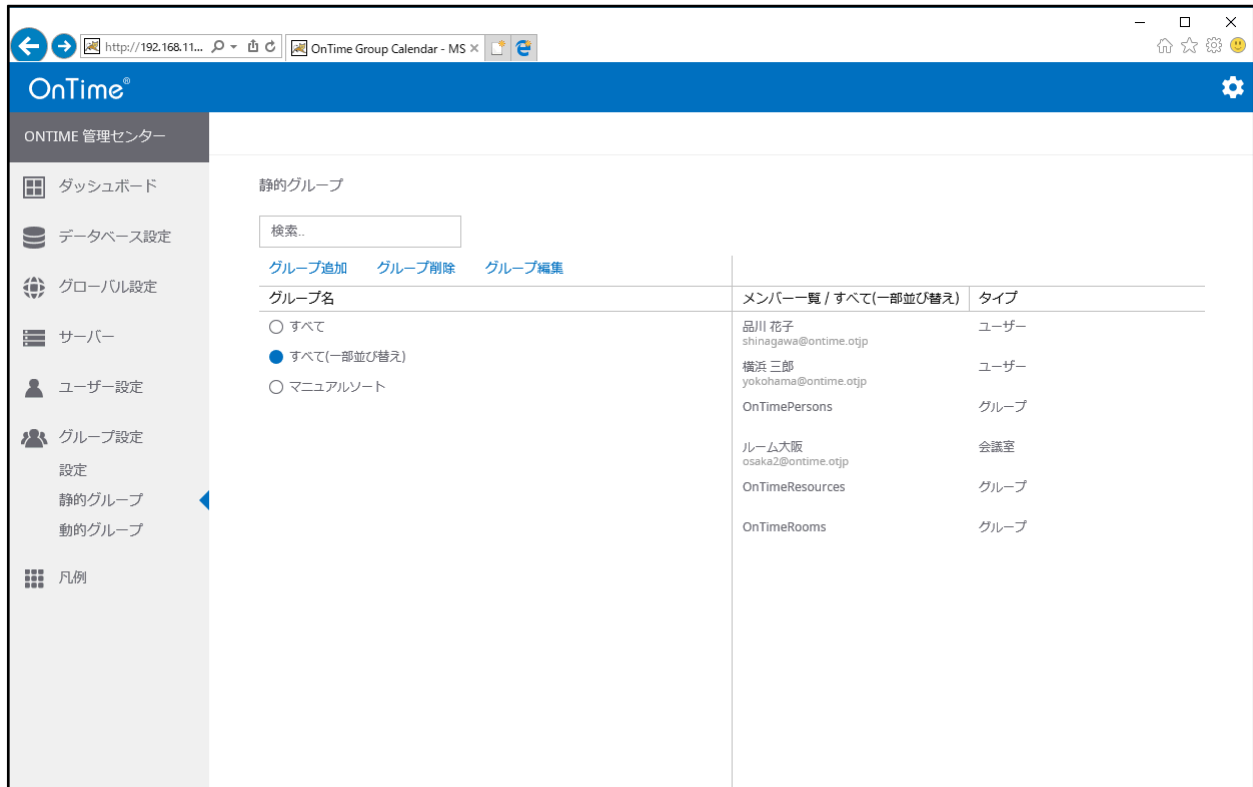


The screenshot shows the OnTime management center interface. The browser address bar displays "http://192.168.11...". The page title is "OnTime Group Calendar - MS". The interface includes a navigation menu on the left with the following items: ONTIME 管理センター, ダッシュボード, データベース設定, グローバル設定, サーバー, ユーザー設定, グループ設定 (with sub-items: 設定, 静的グループ, 動的グループ), and 凡例. The main content area is titled "グループ設定" and contains a "グループ" section with a toggle for "Directoryグループを表示?" set to "はい". Below this is a search box labeled "検索..". A table titled "ディレクトリグループ" lists three groups: OnTimePersons, OnTimeResources, and OnTimeRooms, each with an unselected radio button.

グループ設定 - 静的グループ

このページではOnTimeユーザーが出来る静的表示グループを作成出来ます。
 静的グループは表示グループ名とそのメンバーとなるExchangeユーザーやExchangeグループを直接指定する事が出来ます。Exchangeグループ内のユーザーが変更になっている場合は、深夜2時のAdmin処理で更新されます。
 またグループを表示出来るユーザーを制限出来ます。

静的表示グループ一覧画面
 表示グループを選択すると右にメンバー一覧が表示されます。「グループ編集」で編集が出来ます。

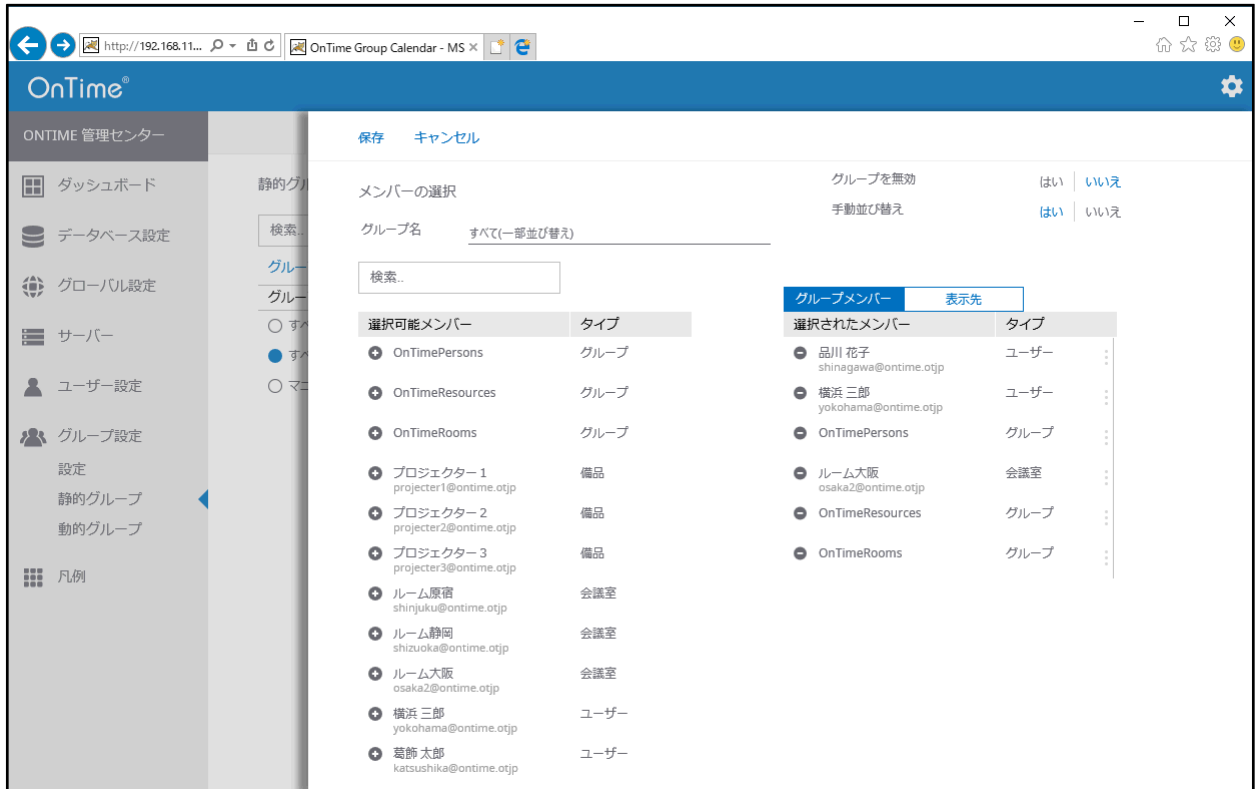


The screenshot shows the 'OnTime 管理センター' (OnTime Management Center) interface. The left sidebar contains navigation options: ダッシュボード, データベース設定, グローバル設定, サーバー, ユーザー設定, グループ設定 (with sub-items: 静的グループ, 動的グループ), and 凡例. The main content area is titled '静的グループ' (Static Groups) and features a search input field with the placeholder '検索..'. Below the search field are three buttons: 'グループ追加', 'グループ削除', and 'グループ編集'. A table displays the list of static groups with columns for 'グループ名' (Group Name), 'メンバー一覧 / すべて(一部並び替え)' (Member List / All (Sort)), and 'タイプ' (Type).

グループ名	メンバー一覧 / すべて(一部並び替え)	タイプ
<input type="radio"/> すべて <input checked="" type="radio"/> すべて(一部並び替え) <input type="radio"/> マニュアルソート	品川 花子 shinagawa@ontime.otjp 横浜 二郎 yokohama@ontime.otjp OnTimePersons	ユーザー ユーザー グループ
	ルーム大阪 osaka2@ontime.otjp OnTimeResources	会議室 グループ
	OnTimeRooms	グループ

編集画面を開くと次ページのようにになります。

静的表示グループ編集画面では表示グループ名とメンバーやグループを選択します。



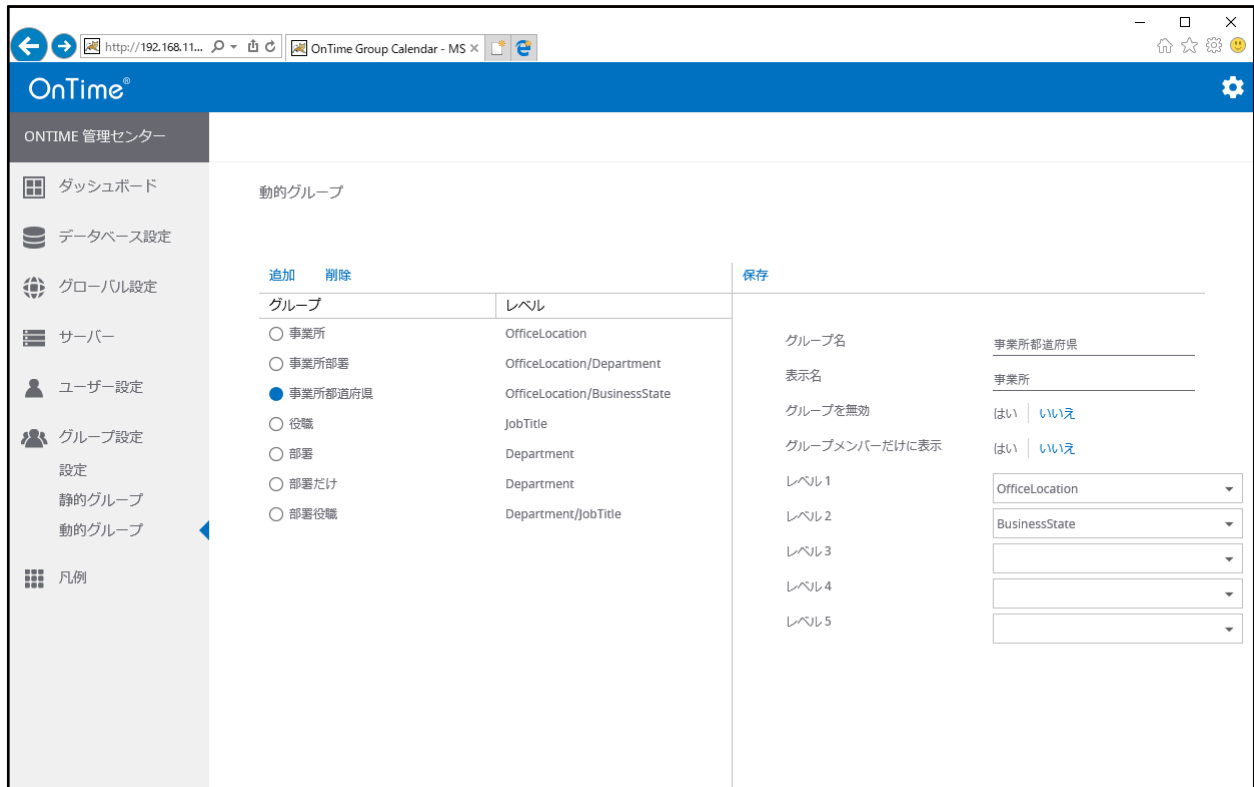
静的表示グループ設定	
グループを無効	一時的に利用しない場合は「はい」を選択して下さい。
手動並び替え	メンバーを手動で並べ替えする場合は「はい」を選択して下さい。 「はい」を選択するとメンバーリストの右側にドラッグ出来るマークが表示されますので適宜ドラッグして下さい。 個別に移動させたユーザーやリソース以外のグループ内メンバーはデフォルトのソート順で表示されます。
表示先	全員……………OnTime利用の全メンバーに表示されます。 グループメンバー…グループに登録されているメンバーだけに表示されます。 カスタム……………個別に表示先を選択出来ます。

グループ設定- 動的グループ

このページはOnTimeユーザーが全員で利用出来る動的表示グループを作成出来ます。
動的グループはExchangeユーザーの組織属性を利用して多階層のグループを自動生成する機能です。
作成したグループ設定は毎深夜2時のAdmin処理で更新されます。

動的表示グループ設定一覧画面

動的表示グループ設定の新規登録と編集が行えます。設定を選択すると右に設定の詳細が表示されます。



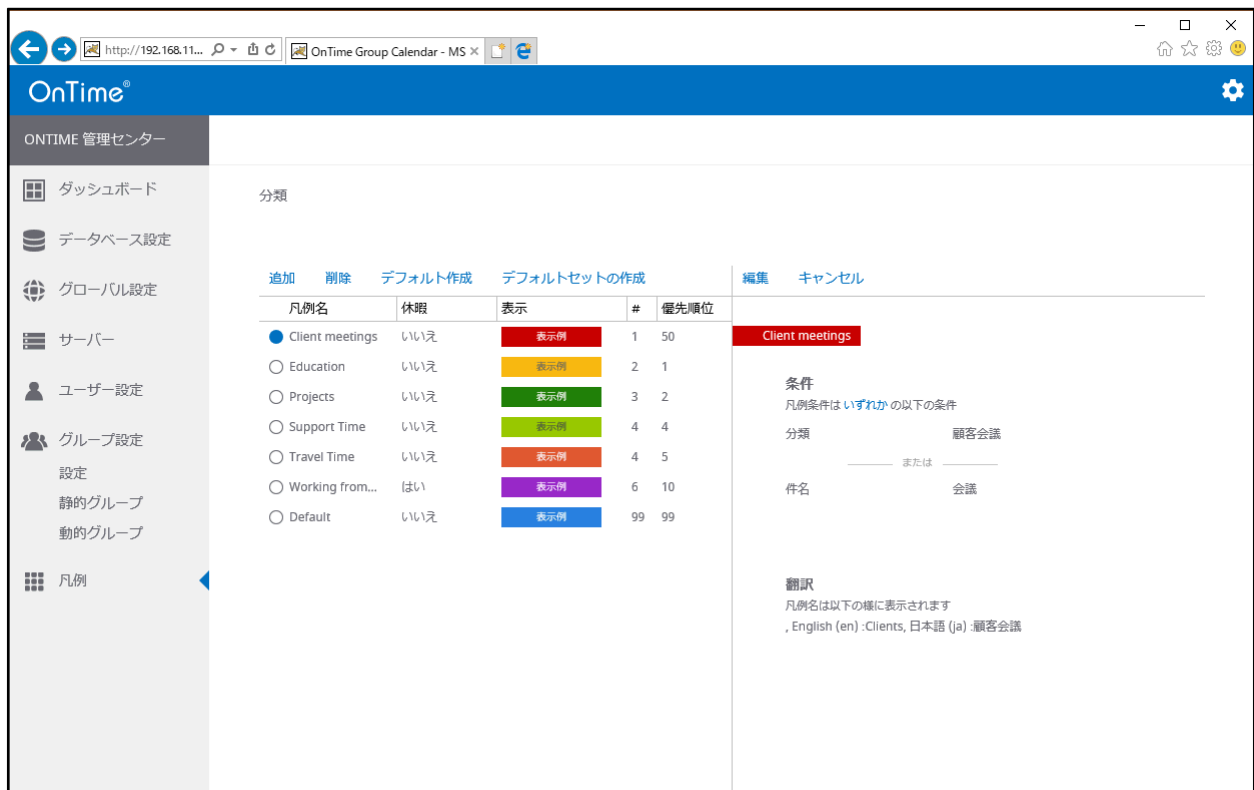
設定画面では各項目を設定します。

グループ名	OnTime管理センター内での識別用の名前を設定します
表示名	OnTimeクライアントでグループ階層のトップに表示される名称を指定します。他の設定と同じ表示名にすると同じ階層に表示されます。
グループを無効	一時的に使用しない場合は「はい」を選択します。
グループメンバーだけに表示	グループに登録されているメンバーだけに表示する場合は「はい」を選択します。
レベル1、2、、、	グルーピングする階層ごとに属性を選択します

凡例

OnTime 上での色分類を凡例として設定します。
 OnTime での色表現は Outlook の色分類とは若干異なります。
 同じ設定にも出来ますし、Outlook の分類に依存せず、件名に含まれる文字列や公開方法などで指定も出来ます。

凡例一覧画面
 管理している凡例が表示されます。
 デフォルトセット作成を押すと基本的な設定をサンプルとして作成されます。作成後はもちろん自由に編集可能です。



The screenshot shows the OnTime management center interface. The left sidebar contains navigation options: ダッシュボード, データベース設定, グローバル設定, サーバー, ユーザー設定, グループ設定 (静的グループ, 動的グループ), and 凡例. The main content area is titled '分類' (Classification) and features a table with columns for '凡例名' (Category Name), '休暇' (Vacation), '表示' (Display), '#', and '優先順位' (Priority). The table lists several categories, with 'Client meetings' selected. To the right of the table is an edit panel for 'Client meetings', showing '条件' (Conditions) and '翻訳' (Translations) sections.

凡例名	休暇	表示	#	優先順位
<input checked="" type="radio"/> Client meetings	いいえ	表示例	1	50
<input type="radio"/> Education	いいえ	表示例	2	1
<input type="radio"/> Projects	いいえ	表示例	3	2
<input type="radio"/> Support Time	いいえ	表示例	4	4
<input type="radio"/> Travel Time	いいえ	表示例	4	5
<input type="radio"/> Working from...	はい	表示例	6	10
<input type="radio"/> Default	いいえ	表示例	99	99

Client meetings

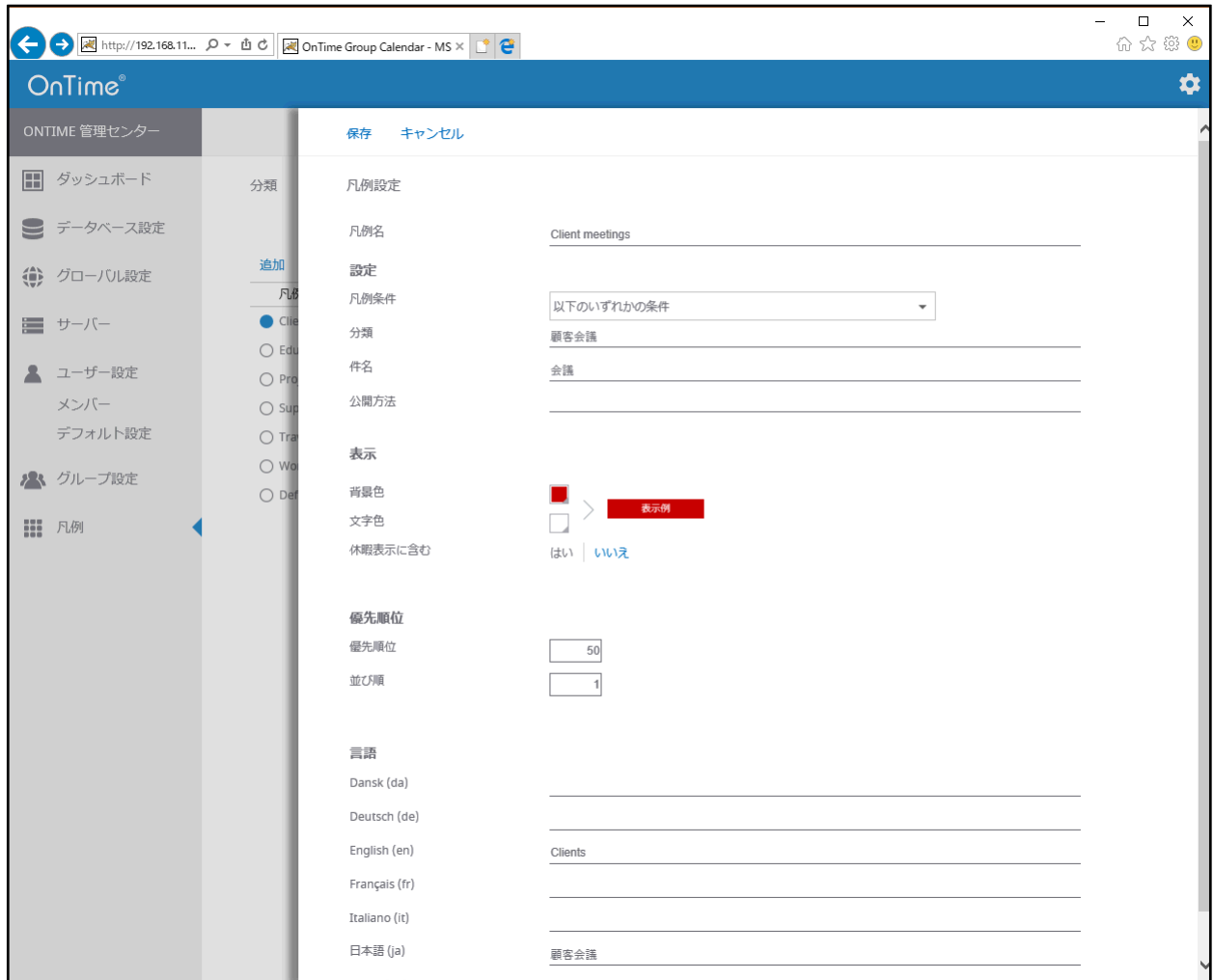
条件
 凡例条件は **いずれか** の以下の条件

分類: _____ 顧客会議
 または _____

件名: _____ 会議

翻訳
 凡例名は以下の様に表示されます
 , English (en) : Clients, 日本語 (ja) : 顧客会議

凡例を選択するか追加をクリックすると次ページのような画面が表示され編集が出来るようになります。



凡例名	管理センター内での識別用の名前を設定します
設定	
凡例条件	AND条件かOR条件にするかを設定します
分類	分類の名称を選択します
件名	件名に含む文字列を指定します
公開方法	公開方法の種類を指定します
表示	
背景色	背景色を選択します
文字色	文字色を選択します
休暇表示に含む	この条件のイベントを休暇ビューに表示するかを設定します
優先順位	
優先順位	複数の凡例条件に合致した場合の優先順位を指定します
並び順	凡例表示の表示順を指定します
言語	
各言語	各言語モードでの表示名を設定します

6.その他 -

FAQもご参照下さい

FAQにも各種情報をご提供しております。
適宜ご参照下さい。

FAQサイト

<http://www3.ontimesuite.jp>